役者評判記

チ13
3849
92

文政
寅

3849
92

236
167

門ち 13
流巻

山 86 ~~143~~
92

藝正定

役者始開暦

系大坂うら巻目録

文政春の暦と開く

顔見せの初ノ番附所九番目

恵宝の方より申御見賀の場西ぐ

新系古系の社列のかりそひ

入切者の●星ふ大内人しどや

仔役とさしても天敬方らうくと

参らさいそ家付徳を名とび

東西南北八専と出場とれば

的へそぐさぬうち始め玉若と

辰巳小大金神の千両箱

三役と若女形と共に勤まる役者
実と悪とを仕分てゐる節柏
登役者の和国人を雖も庚申の夜
甲子待の人屋に土月の入るを今
宵は特入物にもや金ひかれ冬至の
昼方狂言の新向と他出と稽古よ
七十二候の役者と云ふ子の夜〻〻
得心さ〻〻る天上の太多者
頻見世の節分ろう打たぶ〻る
芝居の振ひ関ふ月数へ社日か
元八七候の三百十日の長あて千秋三百宵
矢倉の者も敵せぬ大繁昌

永大坂大芝居地役者同様
糸や糸
地例東芝居　名代　早雲長右衛門
桑名屋
月
有例芝居　名代　市代袋掛の数
都　万太夫
○見立暦の名目は芝居のたのしし
△代々人間防俳又は作間外の名で外
▲別頭三幅対
郷　寿　片岡仁左衛門　小ぐろ
浪花　無類　福　中村歌右衛門　日住
東都　孫　松本幸四郎　日住
お三人暦中随一乃三幅対
▲恵　春　春頭
極上上吉　市川白猿　住
▲三役
月代八郎ろう鹿近も名人八将軍
役之部
至上上吉　尾上菊五郎　有ぐろ
上上上吉　かん〻ものの役者式上の人一天上
上上上吉　嵐璃寛　小ぐろ
備人が彩集して天下の惠宝方

上上吉　市川助十郎　あがた
ぐりと甚くとい出てさて其の後
上上吉　中山新九郎　小がた
沖切出のおくれ人じやうぐそあり
上上吉　中村弥七　はたもと
くぐいめつてよりそのゆる　古形
上上吉　嵐三五郎　△
糸屋くとぐん体刺ごうふ成
上上吉　中山富三郎　小がた
久〳〵ようておのぶりの　松屋
上上吉　市川嵐蔵　へ
藝の仕ようめはりそぶ平
上上　尾上松助　あがた
梅幸　火ちゃ　うん　後藤よ
上上　市川壽太郎　小がた
ぐん〳〵沖後れの　入学よ
上上　嵐雛助　あがた
時出〳〵て吉田屋の名ゑ人と達

上上　嵐吉三郎　小がた
三代目の嵐吉と名と仁方よ開
上上　坂東荒太郎　△
子供芝居よりうまくなりよ
嵐松助　△
嵐　交蔵　小がた
嵐猪三郎　△
梅山吉郎三　本がた
いづれもふくれ人ようと見宿
濱尾八百蔵　△
濱尾新平　△
中村芳五郎　小がた
行役でもなこ合と味酒つよ
尾上菊十郎　あがた
市川岩十郎　は
尾上菊蔵　は
尾上助次郎　は
梅幸火よ付てはゞ　成よ

上上 中村歌文郎 小うと
嵐 雁雲 円
中村勢十郎 円
市川蔦十郎 円

上上 ぶん〜義の仕ようと接ぶ西極よ
市川姉文郎 あがい
尾上義文郎 円
中村仲市 円

上上 逗ノ〜寒のうまれ麦生ひよ
市川栄之助 小がと
市川民蔵 △

上上 市川三十 △
坂東寿文郎 △

ひぶと沖出勤かされぬいまば

上 嵐猿三郎 小 上 市川極十郎 ち
上 小川多喜蔵 円 上 尾上義文郎 円
上 中村雀次 円 上 市川寿蔵 円
上 陸尾仲郎 円 上 尾上[illegible]蔵 円

上 中山嫁蔵 円 上 尾上極蔵 円
上 嵐歌〜衣 円 上 中村勢蔵 小
上 所岡伊之蔵 円 上 市川千寿郎 △
上 嵐市文郎 円 上 中山義蔵 △
上 市川代蔵 円 上 嵐猿十郎 △
上 坂東文郎 円 上 陸尾如平郎 △
上 市川今六 円 上 嵐角平 小
上 嵐大勝 円 上 尾上小三郎 円
上 市川ぐり助 円 上 陸尾関治 円
上 市川万蔵 円 上 嵐仲三蔵 円
上 嵐吉蔵 円

巻油口キ 上上吉 小川春之郎 小がと
お打ずへのもり〜取でゐを定
立役 巻油 上上吉 陸尾額十郎 △
役者の仕ようのいかるよみ大ぼう
▲実悪敵役〜郎
切上上吉 文蔵右ヱ門 △
実悪の仕廻いを文文の大ぶ作

上上吉　浅尾奥山　あさお　初年
上上吉　嵐国八　△
上上吉　嵐倉九　△　優日
上上吉　中村元朝　小ぐち　元日
上上吉　坂東国五郎　△
上上吉　三桝松五郎　小ぐち　危
上上吉　中村東蔵　日　執
上上吉　大谷門蔵　△
上上吉　坂東七五郎　△　除
上上吉　市川園京也郎　あぐち
上上吉　尾上伊三郎　日

上上吉　市川新蔵郎
上上吉　坂田東十郎　あぐち
上上吉　市川宗三郎　小ぐち
上上吉　松本朝助　日　千方義
上上吉　嵐国九郎　小ぐち
上上吉　市川猿蔵　日
上上吉　孫金平九郎　日
上上吉　中村勘蔵　日
上上吉　浅尾安九郎　あぐち
上上吉　嵐東蔵　△
上上吉　沢村滝平　小　上上吉　沢村紀次　あ
上上吉　沢村真市　日　上上吉　萩尾熊蔵　日
上上吉　中村鶴蔵　日　上上吉　大谷万九郎　△
上上吉　嵐猿九郎　日　上上吉　市川伊蔵　△
上上吉　大谷平　日　上上吉　坂東蔵　郎　△

一上　嵐九十郎△　一上　岩井七之郎△
一上　嵐璃子△　一上　大谷初姫△
一上　市川弥蔵△　一上　市川熊之郎△
巻軸　上上吉　沢村宗十郎　小ぐら　沢
実悪巻頭　上上吉　くーぶりでおりをを　浅尾國之郎　日往　浅
実悪の仕所が大分こと入ていさ小宝と入
▲道外義東取ゑ郎
上上吉　沢村長三郎　ながさん　沢
けんが出ゑ　けんが出ゑ　初庚申
上上　笠谷三河右門△
けはいおつ　お新のゑへぬ　月弦
一上　尾上勘三郎　一上　坂東岩之郎△
一上　嵐猿蔵　日一
▲義女取ゑ郎
若女形巻頭　至上上吉　中村松江　小ぐら
至上上吉　沢村國右郎　日往
ゆうくーあ
沖あ人　中ゑの　天敬日

上上吉　岩井条三郎　小ぐら　嫁取記
東の方よりふうふの
上上吉　嵐かのふ△　納ん
義風ハ　中山一徳△　四郎は
上上吉　地蔵ハ　浅尾勇次郎△
上上吉　君ハ一度　浅川路三郎　服部
上上吉　色気の中ハ　浜川路三郎　まんげつ
上上吉　中村歌女　日
玉ゑと上ゑ　嵐吉ゑ助△　天敬
上上　けおゑハよ　岩崎三右衛門△　社明
上上　お二人り　坂東栄蔵郎△　陽殿姫
中村三光　小ぐら

上上
流尾勇枝 △
流川ひろめ 中村まさ子 ひがし
岩井桑蔵 月 菊長勝
市川琴車 ものう
中山与三郎 月 ものう 新桜丸

上上
先代牛若丸 沢村のぶき ひがし
嵐愛蝶 月
岩井扇蝶 ものう
市川朝次郎 月

上上
藝たちまさ 坂東亮右郎 △
中村松三郎 ひがし
沢村雛吉 月
中村麦代 月 麻衣丸

上上
ぶんく 岩井姫丸

上上
皆く 中村小次郎 ひがし
岩井時いろう 月
片岡松右郎 月
嵐寛三郎 △
嵐雛蝶 △ 流藤丸

上上
いづれも 女形の時にうづれぬ 沢倉 ものう
嵐雛久蔵 助 ものう
中山光蔵 △
中山文枝 △
嵐小むら ものう

上上
出ものうの丸 お姿の丸 ぬ 嵐福蔵 △ ものう
嵐雛光 ものう
嵐川友吉 月 桂
嵐富三郎 ひがし
おこんた 丸に季のおぐめ へ ぐるぼう

上上
三幅対
嵐雛光 ものう
嵐川友吉 月 桂
嵐富三郎 ひがし

上上吉 ワキ
吉やうぐ
上上吉 ワキ
上上吉 ワキ

▲若き役者部

上上吉　市川團蔵　小ぐち　丹
　　所岡陽丸　丹
　　浅尾延三郎　△

上上　沢村竜吉　小ぐち　丹
　　大谷鹿之助　△

上上　中村歌柳　小ぐち　丹
　　浅尾安之助　丹
　　浅尾亀之助　丹
　　所岡陽吉郎　丹
　　浅尾房次郎　丹
　　瀬川猪三郎　丹
　　緑山小吉郎　△

いづれも生立のうん門出よ

▲娘形角髪子役者部

嗜〳〵　所成人すること　えんぎ　元祝よ

上上　中村鶴之助　小ぐち　丹
　　嵐猪之助　丹
　　浅尾安吉郎　丹
　　浅尾亀吉郎　丹
　　所岡陽吉郎　丹
　　浅尾房次郎　丹
　　瀬川猪三郎　丹
　　緑山小吉郎　△

上上　中村橋吉郎　小ぐち　丹
　　沢村高蔵　丹
　　中村雀之助　丹
　　中村千助　丹
　　中村嵐助　丹
　　嵐市三郎　丹
　　沢村門吉郎　丹
　　沢村銀吉郎　丹
　　市川重吉　丹
　　嵐秀松　丹
　　嵐宗次郎　丹
　　中村金之助　丹
　　中村若之助　丹
　　所岡吉郎　丹
　　中村市松　丹
　　市川橋次郎　丹
　　中村歌吉　丹

上上　嵐吉次郎　あぐち
　　浅尾橋吉　丹
　　市川助三郎　△
　　坂東彦之丞吉　△
　　市川林次郎　△
　　中村橋蔵　△
　　浅尾源次郎　△
　　中村治郎吉　△
　　大谷郎之助　△
　　中村源吉　△
　　中村浅次郎　△
　　嵐宗之助　△
　　中山安次郎　△
　　中村市之助　△
　　尾上橋蔵　△
　　中村友吉　△
　　市川彩蔵　△

▲頭取之部

[illegible]仮東國[illegible]　[illegible]
浅尾[illegible]之部　[illegible]
中山[illegible]之部　[illegible]
尾上[illegible]之部　[illegible]
相の谷橋十部　△
市川三市部　△

▲[illegible]後見

中山文七

切上吉　お[illegible]い余程もおもしろい[illegible]

[illegible]東　[illegible]　△

御年切[illegible]ぶ[illegible]分の[illegible]大海[illegible]

▲[illegible]巻軸

五上上吉　市川[illegible]　△

[illegible]の仕[illegible]の[illegible]神[illegible]

六上上吉　[illegible]東吉[illegible]部　△

[illegible]と女[illegible]

▲[illegible]子[illegible]

[illegible]部

長須つゝ[illegible]　[illegible]部市十部　小
[illegible]　[illegible]部[illegible]　[illegible]
中村[illegible]吉　[illegible]
中村[illegible]七　[illegible]
[illegible]部[illegible]　[illegible]
中村政吉　[illegible]
竹山弥三吉　[illegible]
芳村[illegible]部吉　[illegible]
三[illegible]　田中[illegible]部　[illegible]
[illegible]吉　[illegible]
中村金[illegible]部　[illegible]
[illegible]　[illegible]
長[illegible]つゝ[illegible]　[illegible]部[illegible]　[illegible]
三[illegible]　[illegible]部　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]部　[illegible]
長寿　[illegible]吉[illegible]
芳村[illegible]部　[illegible]

[illegible]　[illegible]部　小
[illegible]　小川[illegible]部　[illegible]
[illegible]　小川[illegible]部　[illegible]
[illegible]　田中[illegible]部　[illegible]
[illegible]　小川[illegible]部　[illegible]
[illegible]　田中[illegible]部　[illegible]
[illegible]　小川[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]吉　[illegible]
[illegible]　[illegible]吉　[illegible]
[illegible]　[illegible]部　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]

一ゑ　堺田清七　丙　竹本谷之助
一ゑ　福本小三郎　丙　竹本新蔵
一ゑ　田中伝右衛門　丙　竹本新蔵
一ゑ　坂田十次郎　三蓮寺長兵衛
一三段　杵若清吉　丙　長沢南造
一三段　林新徳郎　丙　長沢伴三郎

▲狂言作者之部

澤嵐納光
金澤金助
白鳥弥助
近松要介
福森吉助
金沢張介
京河桑助
近松政助
金澤一洗

北側座

南側座

松川宝化
雪應助
高羽助

京河勘助
並本三造
並本彦助
並本善蔵

千変地蔵　本郷小叶

一寸法師で御馴染せや上一郎の
文政十三庚寅年五月中旬
華岳宗黄信士　俗名　市川市蔵
当時十市ち町惠寺　行年に十一才
初年の時分長くお川筋の市川伝市殿と又妻中の陸
ゆて清吉殿と名乗りて後ゑ西方のあくみへ
出勤なされもうしこれ市川家この上一郎の

同年四月中旬
片月觀岡信士　俗名　片岡源十郎
当時名代西光寺　行年に十三才
第名片岡後ゑ死とやせ　ちょうど金行吉ひ
おんでゆ歩ゆ氏ふび西方の蓮花へ参りもられ
まして　ござうまいおちゆ　なんがこのこと
一だんの御四向様ゆへ上まいる

扨さて二月市ちかくなりヤ上ヤ
文政十二己丑年十二月廿日

淨雲院宗潤信士

中ゝ所　妙徳寺　俗名　中村三郎　行年　四十九

さかの人物名結文帝後が賀ちう近ちに行ふ小ちとて
近ちに出の所をいとりくりの時くえの中村とうり
名も三郎と改ちと改ちも未小例を所辺後されまりこ
と改ちたも未小例を所辺後されまりこ
おゝ所方のちくちく常辺後されまりこ
あれどもちくちくヤ上ヤ

東西花方

上上上吉

二月月　市川團十郎　小ごと

扨ちくさかで所ちくヤ上ヤ

[四九] 右二代目新外郎の実の弟で外ヤ上ヤ
体さ独一人ちくちくまりまりヤ外ヤ上ヤ
ちくべめてヤ上ヤ [右オキ] そふやちくこちくもいん
まりのるで体さ人物ふたまりまりこ出めちくいや
完ちくちくあて近ちのちくちくちくちくちくちく
出さ役ちの取くを中体打ちくちくちくちくちく
あい独ちくちくとちくちくちくちくちくちく
[四九] 右ちくちくの三役体ちくちくちく
ちくちくちくちくちくちくちくちくちくちく

いちくちくちくちくちくちくちくちくちくちく
体ちくちくちくちくちくちくちくちくちくちく
名ちくちくちくちくちくちくちくちくちくちく
ちくちくちくちくちくちくちくちくちくちく
ちくちくちくちくちくちくちくちくちくちく
ちくちくちくちくちくちくちくちくちくちく
ちくちくちくちくちくちくちくちくちくちく
ちくちくちくちくちくちくちくちくちくちく
ちくちくちくちくちくちくちくちくちくちく
ちくちくちくちくちくちくちくちくちくちく
ちくちくちくちくちくちくちくちくちくちく
ちくちくちくちくちくちくちくちくちくちく
ちくちくちくちくちくちくちくちくちくちく
ちくちくちくちくちくちくちくちくちくちく
ちくちくちくちくちくちくちくちくちくちく
ちくちくちくちくちくちくちくちくちくちく
ちくちくちくちくちくちくちくちくちくちく
ちくちくちくちくちくちくちくちくちくちく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]年八角堂がうされい炭仲士の乱暴で
[illegible]るとそれ振別演のあるこの[illegible]
[illegible]方お[illegible]ハ[illegible]ト義づ[illegible]
[illegible]仕間[illegible]
連[illegible]
[illegible]
[illegible]

文政十二巳丑年十月[illegible]日　俳名　市川鯉十郎
芝蘭山義芳信士
寺八[illegible]円三号大福院　行年[illegible]四才

[illegible]
[illegible]
[illegible]

市分の疫神尼稼
[illegible]の役割

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

別頭二幅対

無類（むやと・れいか・つづま）　丸岡仁兵衛　小例
福　中村歌右衛門　日生
孫　松本幸四郎　日生

[説] 拙生孫の代わりに相勤申候事に御座候
出来年寿の孫の代わりに相勤申候
元の故孫様の三福対に成り申候
[松王] 孫の代わりに相勤申候　[梅王]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[ヒロイ] 大切なる水戸の四文字を屋敷の表に掲げ
ねば又々我命迫掲げ[illegible]
[illegible]
中[illegible]
[セバ] 江戸表[illegible]
他の[illegible]
[illegible]
大[illegible]
[ヒロイ] 後藤[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

が入るべき花入等を大お撰び出版の仕
方は其ごとの殺り方の其の見物が出来るこの
やうな特会で出品まうこと
京間振めりそなる体制で出来ること場
で秋冬と延長出来ること出品勧
宝て設ノ風流の姿とおひまうこの点
就ての仕方にて花ものこと雅が表するん
で出来る特に秋花時の様とそれぞれ
比較の点に於ける特に二人の参考
もいまうと後の仕方にまうこと味の点 [五九]
切抜に年津川家の流儀七三流儀の家
七代の年間の間の家元で盛りの新流
今年迄五十三年以外に体を時の様子と
今の場合 [六〇] てやはり武七三の流儀の組織
云ふ所が流れまうこと [セハ] 初期二十年の流

と義文後の宗治七の流儀と分れた流儀
の場合に於ては仕方もこれと同じ
仕井家の場合も少の差違場合の
其三流と云ふ流儀中に流儀と
内の場合の場合に於ては三流儀と
流儀と表の場合に於ては
中務が作り武門三流が行はせ実義流
後に於ては勧進されて
義流 [八〇] 流の新り流儀新の武智光
秀流義永の作業で中流の流の
元上流の流儀と称して流儀
表の場合に於ては
て表と者は流の場合 [八一] 表
中の流儀の場合の
十流の光秀と対して流儀

の戦ひ[illegible]
[illegible]
[illegible]

おもりの中に詩歌をもりこむなどおもしろ
きことなり洲崎表の出の場はいとよく
来ぬ者ども新刀を持ちて出る上京と
同出でたり

[ヒイキ] 是は私共のつまらぬ事
中村座旅神考証の所作なるの所作
なるべく熱湯小姓の場なるべきもの
大歌舞伎の興行の所の場面は出来
帝と来栄の上帝と三人源義経と
ぶらんとうと三人の出 浴者の伴
月は浦に入て入佐の名所合の場 [ヒイキ] 此時
二重の絵と祝言を歌うなる
所と来栄と建礼門院小侍と敦盛
同和殿場合法師出来たるあらく
[ヒイキ] つまらぬ義経の場とこの三重の門
小侍小姓出来たる切場の所三路者出の

かたと名乗りの合戦の所作なるべき
来ぬ者ども入組て組合りとなる
思ふ人は思ふ人の三重の門川橋供
義経来法師出来の場ともの
なるべく義経の法師出の場
の長作切 [ヒイキ] 此所あるべき出来
なるの長作の場の奥に来たるとの
く出場の時代の来法師と入る場所
やんごとなきの余人物の場
[ヒイキ] 此人物の場と義経出来
[ヒイキ] 義人の場はいとよく
義経の場小姓出来
帝の来栄と祝言の歌
ねと出来の場の人物
[ヒイキ] これは出来

おんで天狗と称ぜ[illegible]
川越[illegible]
[illegible]
[illegible]

先手を足に付けられ先切はしばらく見へて手ま
ゝ川柳 後上方で様子よく見へた所が
此はなしは長崎でお通さの事でござる外
下素 そ道者でおひ出さ為れ人世界へ出
勤の所ひろい所を表のひ中村屋の彩後さ
附小稼者帰帰と出ずぐう通さぐ糸と
はなとうひ扨ひとうこ実の祢通とはうし
天狗の面業の助不出業でふう外 図 ひるる貴
ふひひの人めの見だべこの物仲ひの彩んうこと
中入 図 東西ひ表わ出ひの月様ふ出れ
の上下稼ゝゝの言ひ付表ちとふうまん 上下
三ひ出業ひ一通て後稼業ひ三つが扨ひとめで
ふう表ひ見だ表ひ月ひとうが人ひもく
イヨ ひる手稼ふう引

▲ 柳樽 巻 頭

柳樽上言 回 市川白猿 わがハ
上方 イヨ 成田屋ア引 ヨ 上方の親ア引
ヨ 上方 オニイ ヨ ふうで成田ア引
親ア引の親ひうて出ア引 焼と付ちうひと
ちひうひのくおひりひひ出ひ子ふ表ひとき水
ひのうひひひうひ月ひ子ふ表ひ
西ひ出ひ合ひ出ひ表ひ
ひ猿出ひ表ひうひ表ひ
ひ外稼ふ出ひ稼ひ
ひ外 歌ふ 出ひ表ひ
ひ外ひ出ひ表ひ
ひ表ひ出ひ表ひ
ひ表ひ出ひ表ひ
ひ表ひ出ひ表ひ

十一月吉日
松島瑞祥連歌の三美
名月豊長大夫
代亀岳長盛
後狂言
切狂言
頃茂多羅香

ごとくなれば、いかにかの人の[illegible]
[illegible]を撰び出す物の[illegible]
[illegible]
三箇の蝙蝠なれば、[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

文分付地ゟ呉ル事
[上段] 姫川ゟ東ハ新切堤之事
[下段] 文分付地ゟ呉ル事
[上段] 姫川ゟ西ハ出来

[illegible]

[illegible]

[illegible]

後[傾ス]お拵ものの種類多くて[道中]とりわけ茶屋や
茶屋女[傾ス]ご[道中]とりわけ茶屋や
[傾ス]初日の茶屋
[傾ス]茶屋女[傾ス]茶屋女
[傾ス]茶屋女[傾ス]茶屋女
[傾ス]茶屋女[傾ス]茶屋女

切腹をのがれ出たる男はなをされいなりの宗旨
ふかく[illegible]ことなり[illegible]
合ゆまつの仕方と切腹場をかやくとなり[illegible]
其門[illegible]の角の[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一、氏姓は切り角の注者の美の名称を考えるの
意味は東北地方の名称を考えるに
京者後 京語 春水紀行文に
出る樹名の名称との出合を地方の名称
中さも利の出張と名称の出合も
よろく小要樹村の名称の名称
沖殿物の注者東北地方の名称
付録 後文の後の名称
へこぞう中やの大でき 切れ長 ツツ
雅中の所後の注者と 緊張 遠く
尚附の注者の名称の後の名称
付録より ヒイキ 目出度 移して行く
ちゃく モ 以上 ちゃく 移して 三度 カミヤ キヤウヨウ

上上吉 回 市川助十郎 カワガハ

[illegible] 遠く 遠く 市民 の 名称

で名称は出れ注者の名称の名称 切
序文の順上下 の出合の名称 注
分お記の分順序 ども 名称
美人やり 待遇 の方 の 名称
の場出後との出合 ひとり 名称
一旦 報 又合 して 後で 名称
くふ 名称 セツバ 二 名称 民部
中 名称 名称 後 附 名称
長 注者 やり 合 全 注者 名称 公 四
名称 出合 名称 名称 名称
名称 名称 名称 名称 名称 名称 三
名称 名称 名称 名称 名称 名称
中 名称 三 名称 名称 名称 名称
文 注者 義 名称 注 名称 名称 名称
名称 名称 名称 名称 名称 名称 名称

[illegible]

[illegible]

[illegible]

奴禄本殺掠五人の業を為して人びとの動
さてふとゃ物のみ事を称ど義巻れ
ぬ切巻こ三の稲流のみ者れ者ゆ
でぬまりさ 【センバ】 二年ゆ乳母わこ拾ぬ
おりせ体拾の殺れ者男ゆ切ぬ義愛
面性ゆ意く狸のひ者れ伝ぬ 【図】 七九分
沿宗ゆ七伝の嘲に掃ぬ成ゆ者の稲流
二年ゆ祥ゆ出ぬまりこ月ゆ人角
の法ゆ同殺ぬ動 【必】 切ぬ法り八宗ゆて
九殺ゆ三殺ゆ侍ひ侍ゆ人ゆまりさ 【三五五】
九月若連歌評れゆ武智ゆ人ゆ殺
光秀ゆ人ゆ者ゆ者ゆ人ゆ者ゆ
又源秀ゆ百性家殺ゆ三人ゆ業男 【図】
商部九江八宗ゆ同拾ゆて一歌ゆ
ぬ殺ゆ拾ゆ者ゆ 【四五】 殺落面別

殺秀ゆ人ゆ者ゆ三ゆ城ゆ園九春永
八敷ゆ光秀ゆ法義ゆ人ゆ者ゆ形
実ゆ殺ゆ者ゆ人ゆ者ゆ
切ゆ平稲殺ゆ人ゆ者ゆ
ぬゆ者ゆ者ゆ者ゆ義
上上言 【図】 中村歌七 わづば
【図】 形殺ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ
殺法ゆ稲ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ
乃ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ
日ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ
所ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ
者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ
者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ
者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ
者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上吉

市川高麗八

上上　尾上菊五郎　あらい

[illegible]

上上　市川團十郎　△

[illegible]

上上　嵐雜助　△

[illegible]

上上　嵐吉三郎　ゆうぎ

[illegible]

上上　(光)　[illegible]

[illegible]

上上

嵐　松之助△

嵐　友治郎

嵐　猿三郎△

[illegible]

[illegible]

[illegible]

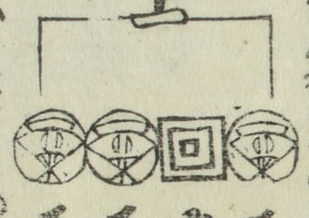
上上

濱尾新平△

濱尾八百蔵△

中村吉右衛門 ゆづり

[illegible]



上上

尾上菊五郎 ゆづり

市川團十郎 〃

尾上菊之助 〃

尾上梅幸 〃

[illegible]

上上

中村歌助 △

市川三十 △

坂東三津五郎 △

[図九] 式部で寸次歌助の評と御市の角の評
二の幕欲清水水無月等を五つ二番目
場の[図十]とあるのみ[図十]芸切で近藤
うづ次式部が出ずに[図十]芸切で近藤
来うの者を出動をその様に孤立と
お動をの行の近藤に対面
○三幕目それ出動の
出動の○三幕目

上上

巻油ノ

上上吉 川 小川雪之丞 ゆづは

[図九] 兵ゴロ式ゴロ外欲清水の富士新蔵
殺セバ [図十] ふなて八合物でのうまも長物者父
子の迫うに出食の[図十]でよ[図十]
と男を[図十]近[図十]
伊賀の殺ゴロ兵衛[図十]
[図十] 紙の迫[図十]
[図十] 市新
[図十] 三の幕
[図十] 清水
[図十] 出後の殺後
[図十] 清水
[図十] 出動
[図十] 出動

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

文政十三庚寅年正月吉日

八文舎自笑

梅枝軒泊鷺

後者始開暦上之巻終

文政
庚寅

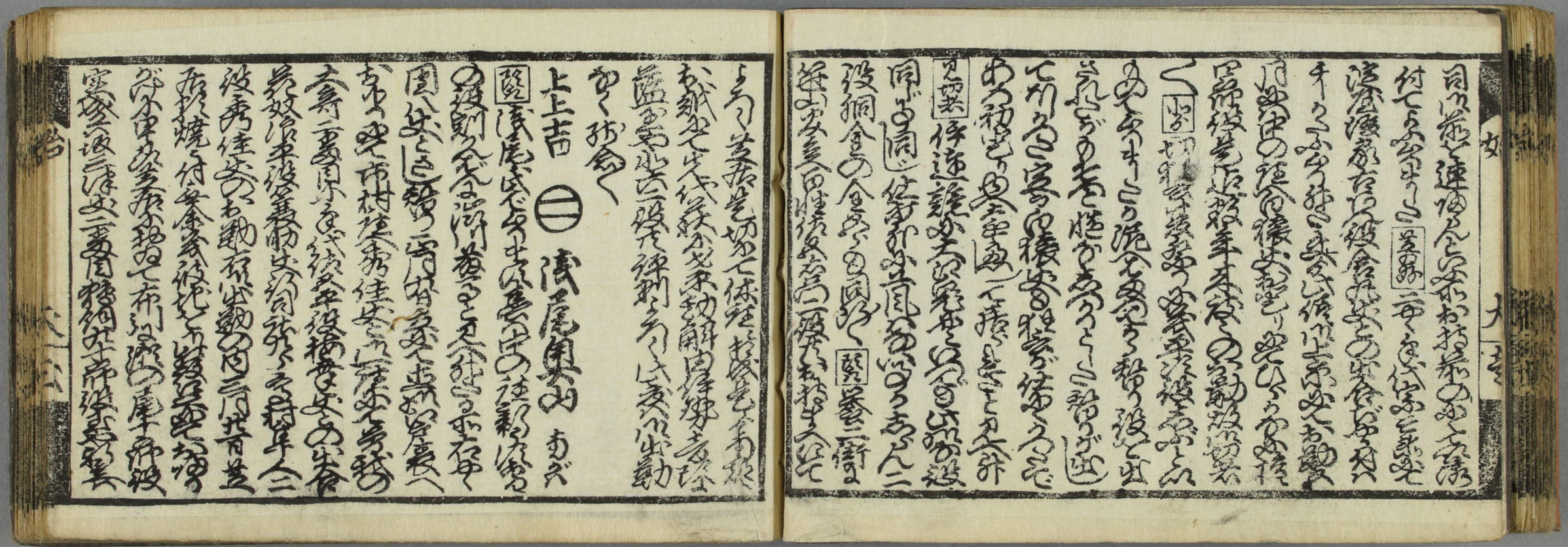
役者姓名帳

乾
坤

後漢始開曆　義和定

実思教後之部

実思教後之部　大谷文庫



上上吉　㊀　濃尾角力　あづま

[illegible]

[illegible]

[illegible]

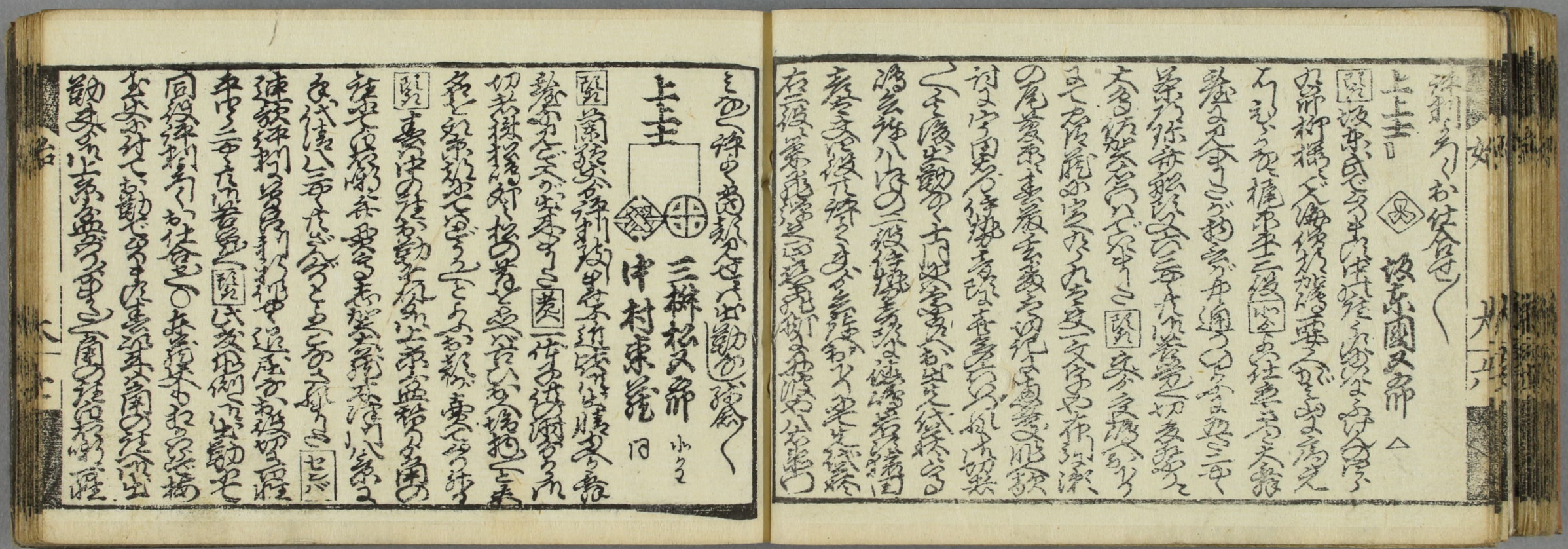
上上吉

高舎尤

[illegible]

[illegible]

[illegible]



上上上上

汲古國又帝

上上上上

三桝松又帝

小ろく

中村東義

日

[illegible]

上上十

中村左衛門義秋 [illegible]

[illegible]

上上十

大谷門義 [illegible]

[illegible]

[illegible]

上上十

坂東七郎師 △

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上

尾上伊三郎 ロ

市川新四郎 △

[illegible]

上上

坂田半十郎 あづま

市川家三郎 ゆづま

松本朝助 ロ

[illegible]

上上

[illegible]

上上三目 い 沢村宗十郎 小ぐま

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上吉

法村長宗作

法源坊

上上

○そ知ら〻ぬ花の見物に出る

▲若女形くゝ部

五段 上吉 い

中村松江 かぶき

沢村國太郎 同

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

名こうを水痢をとめひの形ホ根源
通り夏腹して好が出ずの仕方更のうち
はうの段ずはけがこしてゑすいこ図支分
市村新兵衛はかおこりやはり連続病れて同
二段と動ヒキ体動れてうくはなる花大
いはけんの孫宝

上上吉 ⊕ 岩井名本三帝 小ぜん

図 商売はかいはけ大吉家村ひけの繁盛
段者流ずおこりでかさ根源の大繁の
ひ越の新横様文でかけ 図 ヒキ 大繁れ
見元病て治やけ 図 腹く私ずうつ来
市村達兵衛はかおこりはの新貴段位の
ずのおひ横様文仕方分と湯の物とうく
三雄自小家兵衛はそ体家御
まちがこかおはうく ヒキ 武段はかう

年治最人猿楽喜者はかおこ
決はけんの段でかすー三ずのやは 図
四雄貴文家の物うく海ず新造根
「ひこの形作はうく ヒキ うのおいい形さく
の三重文新面の物ずうく二重貴義
若小家備今の形家根源 図 段の物位
一二家段はけ本年小文 図 ずうくおの物
気本物を文の作七と変出北家故命貴物
ようとの詳り 図 ヒ ろう変縁おか
おまうまがうく 図 弥生物者中若屋上
表 ずまうねお段文いうどおひけがうひ
物ずうくう二重貴物文家物家ずは文
ヒキ 段ずうくう二重貴物文家物家ずは文
つけおかは文大きうく秋の御弁と同ずず
物段はおもうでかすく 図 中の形義

[illegible]

[illegible]

[illegible]

菅原伝授手習鑑
切狂言 加羅先代萩
上中下

[illegible]れたる後新加[illegible]
人とへどもうんらんまりこと大でこと[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上吉　武尾氏

[illegible]

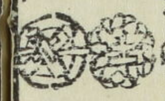
上上吉

[illegible]

上上吉

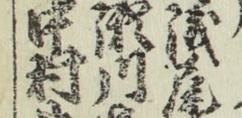
く[illegible]角の[illegible]
[illegible]
[illegible]

上上



中村三光 ゆげへ

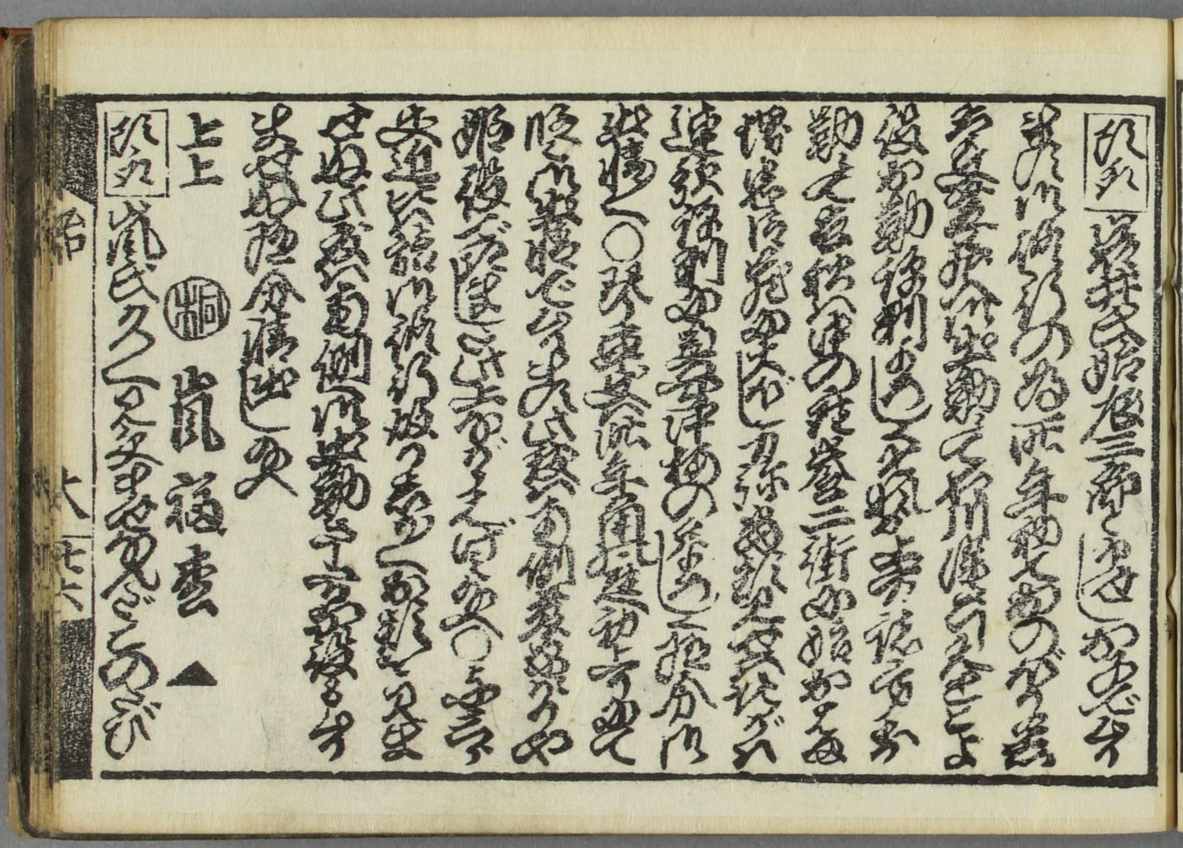
上上



岩井栄助 ゆかべ

市川琴車 ゆかべ

中山寿三郎 月



○三月の文花月仲八月頃孫に祝ひ事

▲三幅対

上上吉　嵐璃光　有ガハ

上上吉　藤川友吉　同社

上上吉　嵐富三郎　小ゾバ

上上吉　嵐式部　同社

[illegible]

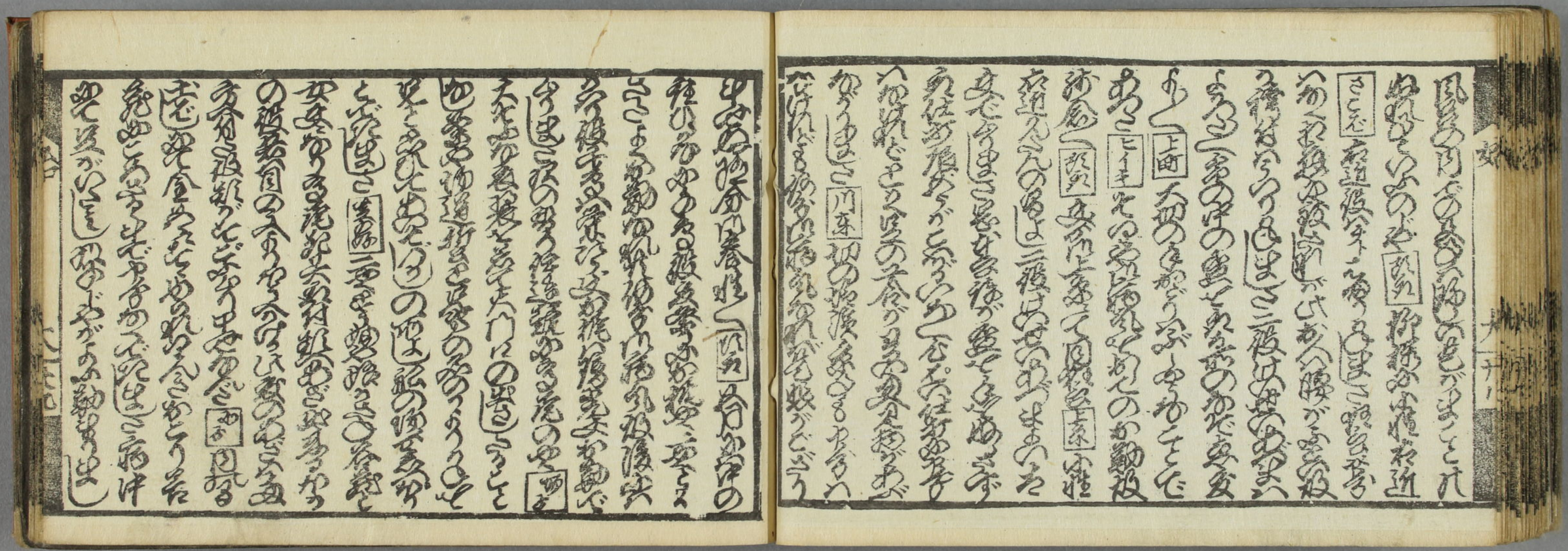
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[七十六] 二間ばかりなる大川ながれたるを見わたすに、[七十七] 水はあさく、[七十八] 瀬はあらく、[七十九] 水はあさく、[八十] 瀬はあらく、[八十一] 水はあさく、[八十二] 瀬はあらく、[八十三] 水はあさく、[八十四] 瀬はあらく、[八十五] 水はあさく、[八十六] 瀬はあらく、[八十七] 水はあさく、[八十八] 瀬はあらく、[八十九] 水はあさく、[九十] 瀬はあらく、[九十一] 水はあさく、[九十二] 瀬はあらく、[九十三] 水はあさく、[九十四] 瀬はあらく、[九十五] 水はあさく、[九十六] 瀬はあらく、[九十七] 水はあさく、[九十八] 瀬はあらく、[九十九] 水はあさく、[百] 瀬はあらく、[百一] 水はあさく、[百二] 瀬はあらく、[百三] 水はあさく、[百四] 瀬はあらく、[百五] 水はあさく、[百六] 瀬はあらく、[百七] 水はあさく、[百八] 瀬はあらく、[百九] 水はあさく、[百十] 瀬はあらく、[百十一] 水はあさく、[百十二] 瀬はあらく、[百十三] 水はあさく、[百十四] 瀬はあらく、[百十五] 水はあさく、[百十六] 瀬はあらく、[百十七] 水はあさく、[百十八] 瀬はあらく、[百十九] 水はあさく、[百二十] 瀬はあらく、[百二十一] 水はあさく、[百二十二] 瀬はあらく、[百二十三] 水はあさく、[百二十四] 瀬はあらく、[百二十五] 水はあさく、[百二十六] 瀬はあらく、[百二十七] 水はあさく、[百二十八] 瀬はあらく、[百二十九] 水はあさく、[百三十] 瀬はあらく、[百三十一] 水はあさく、[百三十二] 瀬はあらく、[百三十三] 水はあさく、[百三十四] 瀬はあらく、[百三十五] 水はあさく、[百三十六] 瀬はあらく、[百三十七] 水はあさく、[百三十八] 瀬はあらく、[百三十九] 水はあさく、[百四十] 瀬はあらく、[百四十一] 水はあさく、[百四十二] 瀬はあらく、[百四十三] 水はあさく、[百四十四] 瀬はあらく、[百四十五] 水はあさく、[百四十六] 瀬はあらく、[百四十七] 水はあさく、[百四十八] 瀬はあらく、[百四十九] 水はあさく、[百五十] 瀬はあらく、[百五十一] 水はあさく、[百五十二] 瀬はあらく、[百五十三] 水はあさく、[百五十四] 瀬はあらく、[百五十五] 水はあさく、[百五十六] 瀬はあらく、[百五十七] 水はあさく、[百五十八] 瀬はあらく、[百五十九] 水はあさく、[百六十] 瀬はあらく、[百六十一] 水はあさく、[百六十二] 瀬はあらく、[百六十三] 水はあさく、[百六十四] 瀬はあらく、[百六十五] 水はあさく、[百六十六] 瀬はあらく、[百六十七] 水はあさく、[百六十八] 瀬はあらく、[百六十九] 水はあさく、[百七十] 瀬はあらく、[百七十一] 水はあさく、[百七十二] 瀬はあらく、[百七十三] 水はあさく、[百七十四] 瀬はあらく、[百七十五] 水はあさく、[百七十六] 瀬はあらく、[百七十七] 水はあさく、[百七十八] 瀬はあらく、[百七十九] 水はあさく、[百八十] 瀬はあらく、[百八十一] 水はあさく、[百八十二] 瀬はあらく、[百八十三] 水はあさく、[百八十四] 瀬はあらく、[百八十五] 水はあさく、[百八十六] 瀬はあらく、[百八十七] 水はあさく、[百八十八] 瀬はあらく、[百八十九] 水はあさく、[百九十] 瀬はあらく、[百九十一] 水はあさく、[百九十二] 瀬はあらく、[百九十三] 水はあさく、[百九十四] 瀬はあらく、[百九十五] 水はあさく、[百九十六] 瀬はあらく、[百九十七] 水はあさく、[百九十八] 瀬はあらく、[百九十九] 水はあさく、[二百] 瀬はあらく、[二百一] 水はあさく、[二百二] 瀬はあらく、[二百三] 水はあさく、[二百四] 瀬はあらく、[二百五] 水はあさく、[二百六] 瀬はあらく、[二百七] 水はあさく、[二百八] 瀬はあらく、[二百九] 水はあさく、[二百十] 瀬はあらく、[二百十一] 水はあさく、[二百十二] 瀬はあらく、[二百十三] 水はあさく、[二百十四] 瀬はあらく、[二百十五] 水はあさく、[二百十六] 瀬はあらく、[二百十七] 水はあさく、[二百十八] 瀬はあらく、[二百十九] 水はあさく、[二百二十] 瀬はあらく、[二百二十一] 水はあさく、[二百二十二] 瀬はあらく、[二百二十三] 水はあさく、[二百二十四] 瀬はあらく、[二百二十五] 水はあさく、[二百二十六] 瀬はあらく、[二百二十七] 水はあさく、[二百二十八] 瀬はあらく、[二百二十九] 水はあさく、[二百三十] 瀬はあらく、[二百三十一] 水はあさく、[二百三十二] 瀬はあらく、[二百三十三] 水はあさく、[二百三十四] 瀬はあらく、[二百三十五] 水はあさく、[二百三十六] 瀬はあらく、[二百三十七] 水はあさく、[二百三十八] 瀬はあらく、[二百三十九] 水はあさく、[二百四十] 瀬はあらく、[二百四十一] 水はあさく、[二百四十二] 瀬はあらく、[二百四十三] 水はあさく、[二百四十四] 瀬はあらく、[二百四十五] 水はあさく、[二百四十六] 瀬はあらく、[二百四十七] 水はあさく、[二百四十八] 瀬はあらく、[二百四十九] 水はあさく、[二百五十] 瀬はあらく、[二百五十一] 水はあさく、[二百五十二] 瀬はあらく、[二百五十三] 水はあさく、[二百五十四] 瀬はあらく、[二百五十五] 水はあさく、[二百五十六] 瀬はあらく、[二百五十七] 水はあさく、[二百五十八] 瀬はあらく、[二百五十九] 水はあさく、[二百六十] 瀬はあらく、[二百六十一] 水はあさく、[二百六十二] 瀬はあらく、[二百六十三] 水はあさく、[二百六十四] 瀬はあらく、[二百六十五] 水はあさく、[二百六十六] 瀬はあらく、[二百六十七] 水はあさく、[二百六十八] 瀬はあらく、[二百六十九] 水はあさく、[二百七十] 瀬はあらく、[二百七十一] 水はあさく、[二百七十二] 瀬はあらく、[二百七十三] 水はあさく、[二百七十四] 瀬はあらく、[二百七十五] 水はあさく、[二百七十六] 瀬はあらく、[二百七十七] 水はあさく、[二百七十八] 瀬はあらく、[二百七十九] 水はあさく、[二百八十] 瀬はあらく、[二百八十一] 水はあさく、[二百八十二] 瀬はあらく、[二百八十三] 水はあさく、[二百八十四] 瀬はあらく、[二百八十五] 水はあさく、[二百八十六] 瀬はあらく、[二百八十七] 水はあさく、[二百八十八] 瀬はあらく、[二百八十九] 水はあさく、[二百九十] 瀬はあらく、[二百九十一] 水はあさく、[二百九十二] 瀬はあらく、[二百九十三] 水はあさく、[二百九十四] 瀬はあらく、[二百九十五] 水はあさく、[二百九十六] 瀬はあらく、[二百九十七] 水はあさく、[二百九十八] 瀬はあらく、[二百九十九] 水はあさく、[三百] 瀬はあらく、[三百一] 水はあさく、[三百二] 瀬はあらく、[三百三] 水はあさく、[三百四] 瀬はあらく、[三百五] 水はあさく、[三百六] 瀬はあらく、[三百七] 水はあさく、[三百八] 瀬はあらく、[三百九] 水はあさく、[三百十] 瀬はあらく、[三百十一] 水はあさく、[三百十二] 瀬はあらく、[三百十三] 水はあさく、[三百十四] 瀬はあらく、[三百十五] 水はあさく、[三百十六] 瀬はあらく、[三百十七] 水はあさく、[三百十八] 瀬はあらく、[三百十九] 水はあさく、[三百二十] 瀬はあらく、[三百二十一] 水はあさく、[三百二十二] 瀬はあらく、[三百二十三] 水はあさく、[三百二十四] 瀬はあらく、[三百二十五] 水はあさく、[三百二十六] 瀬はあらく、[三百二十七] 水はあさく、[三百二十八] 瀬はあらく、[三百二十九] 水はあさく、[三百三十] 瀬はあらく、[三百三十一] 水はあさく、[三百三十二] 瀬はあらく、[三百三十三] 水はあさく、[三百三十四] 瀬はあらく、[三百三十五] 水はあさく、[三百三十六] 瀬はあらく、[三百三十七] 水はあさく、[三百三十八] 瀬はあらく、[三百三十九] 水はあさく、[三百四十] 瀬はあらく、[三百四十一] 水はあさく、[三百四十二] 瀬はあらく、[三百四十三] 水はあさく、[三百四十四] 瀬はあらく、[三百四十五] 水はあさく、[三百四十六] 瀬はあらく、[三百四十七] 水はあさく、[三百四十八] 瀬はあらく、[三百四十九] 水はあさく、[三百五十] 瀬はあらく、[三百五十一] 水はあさく、[三百五十二] 瀬はあらく、[三百五十三] 水はあさく、[三百五十四] 瀬はあらく、[三百五十五] 水はあさく、[三百五十六] 瀬はあらく、[三百五十七] 水はあさく、[三百五十八] 瀬はあらく、[三百五十九] 水はあさく、[三百六十] 瀬はあらく、[三百六十一] 水はあさく、[三百六十二] 瀬はあらく、[三百六十三] 水はあさく、[三百六十四] 瀬はあらく、[三百六十五] 水はあさく、[三百六十六] 瀬はあらく、[三百六十七] 水はあさく、[三百六十八] 瀬はあらく、[三百六十九] 水はあさく、[三百七十] 瀬はあらく、[三百七十一] 水はあさく、[三百七十二] 瀬はあらく、[三百七十三] 水はあさく、[三百七十四] 瀬はあらく、[三百七十五] 水はあさく、[三百七十六] 瀬はあらく、[三百七十七] 水はあさく、[三百七十八] 瀬はあらく、[三百七十九] 水はあさく、[三百八十] 瀬はあらく、[三百八十一] 水はあさく、[三百八十二] 瀬はあらく、[三百八十三] 水はあさく、[三百八十四] 瀬はあらく、[三百八十五] 水はあさく、[三百八十六] 瀬はあらく、[三百八十七] 水はあさく、[三百八十八] 瀬はあらく、[三百八十九] 水はあさく、[三百九十] 瀬はあらく、[三百九十一] 水はあさく、[三百九十二] 瀬はあらく、[三百九十三] 水はあさく、[三百九十四] 瀬はあらく、[三百九十五] 水はあさく、[三百九十六] 瀬はあらく、[三百九十七] 水はあさく、[三百九十八] 瀬はあらく、[三百九十九] 水はあさく、[四百] 瀬はあらく、[四百一] 水はあさく、[四百二] 瀬はあらく、[四百三] 水はあさく、[四百四] 瀬はあらく、[四百五] 水はあさく、[四百六] 瀬はあらく、[四百七] 水はあさく、[四百八] 瀬はあらく、[四百九] 水はあさく、[四百十] 瀬はあらく、[四百十一] 水はあさく、[四百十二] 瀬はあらく、[四百十三] 水はあさく、[四百十四] 瀬はあらく、[四百十五] 水はあさく、[四百十六] 瀬はあらく、[四百十七] 水はあさく、[四百十八] 瀬はあらく、[四百十九] 水はあさく、[四百二十] 瀬はあらく、[四百二十一] 水はあさく、[四百二十二] 瀬はあらく、[四百二十三] 水はあさく、[四百二十四] 瀬はあらく、[四百二十五] 水はあさく、[四百二十六] 瀬はあらく、[四百二十七] 水はあさく、[四百二十八] 瀬はあらく、[四百二十九] 水はあさく、[四百三十] 瀬はあらく、[四百三十一] 水はあさく、[四百三十二] 瀬はあらく、[四百三十三] 水はあさく、[四百三十四] 瀬はあらく、[四百三十五] 水はあさく、[四百三十六] 瀬はあらく、[四百三十七] 水はあさく、[四百三十八] 瀬はあらく、[四百三十九] 水はあさく、[四百四十] 瀬はあらく、[四百四十一] 水はあさく、[四百四十二] 瀬はあらく、[四百四十三] 水はあさく、[四百四十四] 瀬はあらく、[四百四十五] 水はあさく、[四百四十六] 瀬はあらく、[四百四十七] 水はあさく、[四百四十八] 瀬はあらく、[四百四十九] 水はあさく、[四百五十] 瀬はあらく、[四百五十一] 水はあさく、[四百五十二] 瀬はあらく、[四百五十三] 水はあさく、[四百五十四] 瀬はあらく、[四百五十五] 水はあさく、[四百五十六] 瀬はあらく、[四百五十七] 水はあさく、[四百五十八] 瀬はあらく、[四百五十九] 水はあさく、[四百六十] 瀬はあらく、[四百六十一] 水はあさく、[四百六十二] 瀬はあらく、[四百六十三] 水はあさく、[四百六十四] 瀬はあらく、[四百六十五] 水はあさく、[四百六十六] 瀬はあらく、[四百六十七] 水はあさく、[四百六十八] 瀬はあらく、[四百六十九] 水はあさく、[四百七十] 瀬はあらく、[四百七十一] 水はあさく、[四百七十二] 瀬はあらく、[四百七十三] 水はあさく、[四百七十四] 瀬はあらく、[四百七十五] 水はあさく、[四百七十六] 瀬はあらく、[四百七十七] 水はあさく、[四百七十八] 瀬はあらく、[四百七十九] 水はあさく、[四百八十] 瀬はあらく、[四百八十一] 水はあさく、[四百八十二] 瀬はあらく、[四百八十三] 水はあさく、[四百八十四] 瀬はあらく、[四百八十五] 水はあさく、[四百八十六] 瀬はあらく、[四百八十七] 水はあさく、[四百八十八] 瀬はあらく、[四百八十九] 水はあさく、[四百九十] 瀬はあらく、[四百九十一] 水はあさく、[四百九十二] 瀬はあらく、[四百九十三] 水はあさく、[四百九十四] 瀬はあらく、[四百九十五] 水はあさく、[四百九十六] 瀬はあらく、[四百九十七] 水はあさく、[四百九十八] 瀬はあらく、[四百九十九] 水はあさく、[五百] 瀬はあらく、[五百一] 水はあさく、[五百二] 瀬はあらく、[五百三] 水はあさく、[五百四] 瀬はあらく、[五百五] 水はあさく、[五百六] 瀬はあらく、[五百七] 水はあさく、[五百八] 瀬はあらく、[五百九] 水はあさく、[五百十] 瀬はあらく、[五百十一] 水はあさく、[五百十二] 瀬はあらく、[五百十三] 水はあさく、[五百十四] 瀬はあらく、[五百十五] 水はあさく、[五百十六] 瀬はあらく、[五百十七] 水はあさく、[五百十八] 瀬はあらく、[五百十九] 水はあさく、[五百二十] 瀬はあらく、[五百二十一] 水はあさく、[五百二十二] 瀬はあらく、[五百二十三] 水はあさく、[五百二十四] 瀬はあらく、[五百二十五] 水はあさく、[五百二十六] 瀬はあらく、[五百二十七] 水はあさく、[五百二十八] 瀬はあらく、[五百二十九] 水はあさく、[五百三十] 瀬はあらく、[五百三十一] 水はあさく、[五百三十二] 瀬はあらく、[五百三十三] 水はあさく、[五百三十四] 瀬はあらく、[五百三十五] 水はあさく、[五百三十六] 瀬はあらく、[五百三十七] 水はあさく、[五百三十八] 瀬はあらく、[五百三十九] 水はあさく、[五百四十] 瀬はあらく、[五百四十一] 水はあさく、[五百四十二] 瀬はあらく、[五百四十三] 水はあさく、[五百四十四] 瀬はあらく、[五百四十五] 水はあさく、[五百四十六] 瀬はあらく、[五百四十七] 水はあさく、[五百四十八] 瀬はあらく、[五百四十九] 水はあさく、[五百五十] 瀬はあらく、[五百五十一] 水はあさく、[五百五十二] 瀬はあらく、[五百五十三] 水はあさく、[五百五十四] 瀬はあらく、[五百五十五] 水はあさく、[五百五十六] 瀬はあらく、[五百五十七] 水はあさく、[五百五十八] 瀬はあらく、[五百五十九] 水はあさく、[五百六十] 瀬はあらく、[五百六十一] 水はあさく、[五百六十二] 瀬はあらく、[五百六十三] 水はあさく、[五百六十四] 瀬はあらく、[五百六十五] 水はあさく、[五百六十六] 瀬はあらく、[五百六十七] 水はあさく、[五百六十八] 瀬はあらく、[五百六十九] 水はあさく、[五百七十] 瀬はあらく、[五百七十一] 水はあさく、[五百七十二] 瀬はあらく、[五百七十三] 水はあさく、[五百七十四] 瀬はあらく、[五百七十五] 水はあさく、[五百七十六] 瀬はあらく、[五百七十七] 水はあさく、[五百七十八] 瀬はあらく、[五百七十九] 水はあさく、[五百八十] 瀬はあらく、[五百八十一] 水はあさく、[五百八十二] 瀬はあらく、[五百八十三] 水はあさく、[五百八十四] 瀬はあらく、[五百八十五] 水はあさく、[五百八十六] 瀬はあらく、[五百八十七] 水はあさく、[五百八十八] 瀬はあらく、[五百八十九] 水はあさく、[五百九十] 瀬はあらく、[五百九十一] 水はあさく、[五百九十二] 瀬はあらく、[五百九十三] 水はあさく、[五百九十四] 瀬はあらく、[五百九十五] 水はあさく、[五百九十六] 瀬はあらく、[五百九十七] 水はあさく、[五百九十八] 瀬はあらく、[五百九十九] 水はあさく、[六百] 瀬はあらく、[六百一] 水はあさく、[六百二] 瀬はあらく、[六百三] 水はあさく、[六百四] 瀬はあらく、[六百五] 水はあさく、[六百六] 瀬はあらく、[六百七] 水はあさく、[六百八] 瀬はあらく、[六百九] 水はあさく、[六百十] 瀬はあらく、[六百十一] 水はあさく、[六百十二] 瀬はあらく、[六百十三] 水はあさく、[六百十四] 瀬はあらく、[六百十五] 水はあさく、[六百十六] 瀬はあらく、[六百十七] 水はあさく、[六百十八] 瀬はあらく、[六百十九] 水はあさく、[六百二十] 瀬はあらく、[六百二十一] 水はあさく、[六百二十二] 瀬はあらく、[六百二十三] 水はあさく、[六百二十四] 瀬はあらく、[六百二十五] 水はあさく、[六百二十六] 瀬はあらく、[六百二十七] 水はあさく、[六百二十八] 瀬はあらく、[六百二十九] 水はあさく、[六百三十] 瀬はあらく、[六百三十一] 水はあさく、[六百三十二] 瀬はあらく、[六百三十三] 水はあさく、[六百三十四] 瀬はあらく、[六百三十五] 水はあさく、[六百三十六] 瀬はあらく、[六百三十七] 水はあさく、[六百三十八] 瀬はあらく、[六百三十九] 水はあさく、[六百四十] 瀬はあらく、[六百四十一] 水はあさく、[六百四十二] 瀬はあらく、[六百四十三] 水はあさく、[六百四十四] 瀬はあらく、[六百四十五] 水はあさく、[六百四十六] 瀬はあらく、[六百四十七] 水はあさく、[六百四十八] 瀬はあらく、[六百四十九] 水はあさく、[六百五十] 瀬はあらく、[六百五十一] 水はあさく、[六百五十二] 瀬はあらく、[六百五十三] 水はあさく、[六百五十四] 瀬はあらく、[六百五十五] 水はあさく、[六百五十六] 瀬はあらく、[六百五十七] 水はあさく、[六百五十八] 瀬はあらく、[六百五十九] 水はあさく、[六百六十] 瀬はあらく、[六百六十一] 水はあさく、[六百六十二] 瀬はあらく、[六百六十三] 水はあさく、[六百六十四] 瀬はあらく、[六百六十五] 水はあさく、[六百六十六] 瀬はあらく、[六百六十七] 水はあさく、[六百六十八] 瀬はあらく、[六百六十九] 水はあさく、[六百七十] 瀬はあらく、[六百七十一] 水はあさく、[六百七十二] 瀬はあらく、[六百七十三] 水はあさく、[六百七十四] 瀬はあらく、[六百七十五] 水はあさく、[六百七十六] 瀬はあらく、[六百七十七] 水はあさく、[六百七十八] 瀬はあらく、[六百七十九] 水はあさく、[六百八十] 瀬はあらく、[六百八十一] 水はあさく、[六百八十二] 瀬はあらく、[六百八十三] 水はあさく、[六百八十四] 瀬はあらく、[六百八十五] 水はあさく、[六百八十六] 瀬はあらく、[六百八十七] 水はあさく、[六百八十八] 瀬はあらく、[六百八十九] 水はあさく、[六百九十] 瀬はあらく、[六百九十一] 水はあさく、[六百九十二] 瀬はあらく、[六百九十三] 水はあさく、[六百九十四] 瀬はあらく、[六百九十五] 水はあさく、[六百九十六] 瀬はあらく、[六百九十七] 水はあさく、[六百九十八] 瀬はあらく、[六百九十九] 水はあさく、[七百] 瀬はあらく、[七百一] 水はあさく、[七百二] 瀬はあらく、[七百三] 水はあさく、[七百四] 瀬はあらく、[七百五] 水はあさく、[七百六] 瀬はあらく、[七百七] 水はあさく、[七百八] 瀬はあらく、[七百九] 水はあさく、[七百十] 瀬はあらく、[七百十一] 水はあさく、[七百十二] 瀬はあらく、[七百十三] 水はあさく、[七百十四] 瀬はあらく、[七百十五] 水はあさく、[七百十六] 瀬はあらく、[七百十七] 水はあさく、[七百十八] 瀬はあらく、[七百十九] 水はあさく、[七百二十] 瀬はあらく、[七百二十一] 水はあさく、[七百二十二] 瀬はあらく、[七百二十三] 水はあさく、[七百二十四] 瀬はあらく、[七百二十五] 水はあさく、[七百二十六] 瀬はあらく、[七百二十七] 水はあさく、[七百二十八] 瀬はあらく、[七百二十九] 水はあさく、[七百三十] 瀬はあらく、[七百三十一] 水はあさく、[七百三十二] 瀬はあらく、[七百三十三] 水はあさく、[七百三十四] 瀬はあらく、[七百三十五] 水はあさく、[七百三十六] 瀬はあらく、[七百三十七] 水はあさく、[七百三十八] 瀬はあらく、[七百三十九] 水はあさく、[七百四十] 瀬はあらく、[七百四十一] 水はあさく、[七百四十二] 瀬はあらく、[七百四十三] 水はあさく、[七百四十四] 瀬はあらく、[七百四十五] 水はあさく、[七百四十六] 瀬はあらく、[七百四十七] 水はあさく、[七百四十八] 瀬はあらく、[七百四十九] 水はあさく、[七百五十] 瀬はあらく、[七百五十一] 水はあさく、[七百五十二] 瀬はあらく、[七百五十三] 水はあさく、[七百五十四] 瀬はあらく、[七百五十五] 水はあさく、[七百五十六] 瀬はあらく、[七百五十七] 水はあさく、[七百五十八] 瀬はあらく、[七百五十九] 水はあさく、[七百六十] 瀬はあらく、[七百六十一] 水はあさく、[七百六十二] 瀬はあらく、[七百六十三] 水はあさく、[七百六十四] 瀬はあらく、[七百六十五] 水はあさく、[七百六十六] 瀬はあらく、[七百六十七] 水はあさく、[七百六十八] 瀬はあらく、[七百六十九] 水はあさく、[七百七十] 瀬はあらく、[七百七十一] 水はあさく、[七百七十二] 瀬はあらく、[七百七十三] 水はあさく、[七百七十四] 瀬はあらく、[七百七十五] 水はあさく、[七百七十六] 瀬はあらく、[七百七十七] 水はあさく、[七百七十八] 瀬はあらく、[七百七十九] 水はあさく、[七百八十] 瀬はあらく、[七百八十一] 水はあさく、[七百八十二] 瀬はあらく、[七百八十三] 水はあさく、[七百八十四] 瀬はあらく、[七百八十五] 水はあさく、[七百八十六] 瀬はあらく、[七百八十七] 水はあさく、[七百八十八] 瀬はあらく、[七百八十九] 水はあさく、[七百九十] 瀬はあらく、[七百九十一] 水はあさく、[七百九十二] 瀬はあらく、[七百九十三] 水はあさく、[七百九十四] 瀬はあらく、[七百九十五] 水はあさく、[七百九十六] 瀬はあらく、[七百九十七] 水はあさく、[七百九十八] 瀬はあらく、[七百九十九] 水はあさく、[八百] 瀬はあらく、[八百一] 水はあさく、[八百二] 瀬はあらく、[八百三] 水はあさく、[八百四] 瀬はあらく、[八百五] 水はあさく、[八百六] 瀬はあらく、[八百七] 水はあさく、[八百八] 瀬はあらく、[八百九] 水はあさく、[八百十] 瀬はあらく、[八百十一] 水はあさく、[八百十二] 瀬はあらく、[八百十三] 水はあさく、[八百十四] 瀬はあらく、[八百十五] 水はあさく、[八百十六] 瀬はあらく、[八百十七] 水はあさく、[八百十八] 瀬はあらく、[八百十九] 水はあさく、[八百二十] 瀬はあらく、[八百二十一] 水はあさく、[八百二十二] 瀬はあらく、[八百二十三] 水はあさく、[八百二十四] 瀬はあらく、[八百二十五] 水はあさく、[八百二十六] 瀬はあらく、[八百二十七] 水はあさく、[八百二十八] 瀬はあらく、[八百二十九] 水はあさく、[八百三十] 瀬はあらく、[八百三十一] 水はあさく、[八百三十二] 瀬はあらく、[八百三十三] 水はあさく、[八百三十四] 瀬はあらく、[八百三十五] 水はあさく、[八百三十六] 瀬はあらく、[八百三十七] 水はあさく、[八百三十八] 瀬はあらく、[八百三十九] 水はあさく、[八百四十] 瀬はあらく、[八百四十一] 水はあさく、[八百四十二] 瀬はあらく、[八百四十三] 水はあさく、[八百四十四] 瀬はあらく、[八百四十五] 水はあさく、[八百四十六] 瀬はあらく、[八百四十七] 水はあさく、[八百四十八] 瀬はあらく、[八百四十九] 水はあさく、[八百五十] 瀬はあらく、[八百五十一] 水はあさく、[八百五十二] 瀬はあらく、[八百五十三] 水はあさく、[八百五十四] 瀬はあらく、[八百五十五] 水はあさく、[八百五十六] 瀬はあらく、[八百五十七] 水はあさく、[八百五十八] 瀬はあらく、[八百五十九] 水はあさく、[八百六十] 瀬はあらく、[八百六十一] 水はあさく、[八百六十二] 瀬はあらく、[八百六十三] 水はあさく、[八百六十四] 瀬はあらく、[八百六十五] 水はあさく、[八百六十六] 瀬はあらく、[八百六十七] 水はあさく、[八百六十八] 瀬はあらく、[八百六十九] 水はあさく、[八百七十] 瀬はあらく、[八百七十一] 水はあさく、[八百七十二] 瀬はあらく、[八百七十三] 水はあさく、[八百七十四] 瀬はあらく、[八百七十五] 水はあさく、[八百七十六] 瀬はあらく、[八百七十七] 水はあさく、[八百七十八] 瀬はあらく、[八百七十九] 水はあさく、[八百八十] 瀬はあらく、[八百八十一] 水はあさく、[八百八十二] 瀬はあらく、[八百八十三] 水はあさく、[八百八十四] 瀬はあらく、[八百八十五] 水はあさく、[八百八十六] 瀬はあらく、[八百八十七] 水はあさく、[八百八十八] 瀬はあらく、[八百八十九] 水はあさく、[八百九十] 瀬はあらく、[八百九十一] 水はあさく、[八百九十二] 瀬はあらく、[八百九十三] 水はあさく、[八百九十四] 瀬はあらく、[八百九十五] 水はあさく、[八百九十六] 瀬はあらく、[八百九十七] 水はあさく、[八百九十八] 瀬はあらく、[八百九十九] 水はあさく、[九百] 瀬はあらく、[九百一] 水はあさく、[九百二] 瀬はあらく、[九百三] 水はあさく、[九百四] 瀬はあらく、[九百五] 水はあさく、[九百六] 瀬はあらく、[九百七] 水はあさく、[九百八] 瀬はあらく、[九百九] 水はあさく、[九百十] 瀬はあらく、[九百十一] 水はあさく、[九百十二] 瀬はあらく、[九百十三] 水はあさく、[九百十四] 瀬はあらく、[九百十五] 水はあさく、[九百十六] 瀬はあらく、[九百十七] 水はあさく、[九百十八] 瀬はあらく、[九百十九] 水はあさく、[九百二十] 瀬はあらく、[九百二十一] 水はあさく、[九百二十二] 瀬はあらく、[九百二十三] 水はあさく、[九百二十四] 瀬はあらく、[九百二十五] 水はあさく、[九百二十六] 瀬はあらく、[九百二十七] 水はあさく、[九百二十八] 瀬はあらく、[九百二十九] 水はあさく、[九百三十] 瀬はあらく、[九百三十一] 水はあさく、[九百三十二] 瀬はあらく、[九百三十三] 水はあさく、[九百三十四] 瀬はあらく、[九百三十五] 水はあさく、[九百三十六] 瀬はあらく、[九百三十七] 水はあさく、[九百三十八] 瀬はあらく、[九百三十九] 水はあさく、[九百四十] 瀬はあらく、[九百四十一] 水はあさく、[九百四十二] 瀬はあらく、[九百四十三] 水はあさく、[九百四十四] 瀬はあらく、[九百四十五] 水はあさく、[九百四十六] 瀬はあらく、[九百四十七] 水はあさく、[九百四十八] 瀬はあらく、[九百四十九] 水はあさく、[九百五十] 瀬はあらく、[九百五十一] 水はあさく、[九百五十二] 瀬はあらく、[九百五十三] 水はあさく、[九百五十四] 瀬はあらく、[九百五十五] 水はあさく、[九百五十六] 瀬はあらく、[九百五十七] 水はあさく、[九百五十八] 瀬はあらく、[九百五十九] 水はあさく、[九百六十] 瀬はあらく、[九百六十一] 水はあさく、[九百六十二] 瀬はあらく、[九百六十三] 水はあさく、[九百六十四] 瀬はあらく、[九百六十五] 水はあさく、[九百六十六] 瀬はあらく、[九百六十七] 水はあさく、[九百六十八] 瀬はあらく、[九百六十九] 水はあさく、[九百七十] 瀬はあらく、[九百七十一] 水はあさく、[九百七十二] 瀬はあらく、[九百七十三] 水はあさく、[九百七十四] 瀬はあらく、[九百七十五] 水はあさく、[九百七十六] 瀬はあらく、[九百七十七] 水はあさく、[九百七十八] 瀬はあらく、[九百七十九] 水はあさく、[九百八十] 瀬はあらく、[九百八十一] 水はあさく、[九百八十二] 瀬はあらく、[九百八十三] 水はあさく、[九百八十四] 瀬はあらく、[九百八十五] 水はあさく、[九百八十六] 瀬はあらく、[九百八十七] 水はあさく、[九百八十八] 瀬はあらく、[九百八十九] 水はあさく、[九百九十] 瀬はあらく、[九百九十一] 水はあさく、[九百九十二] 瀬はあらく、[九百九十三] 水はあさく、[九百九十四] 瀬はあらく、[九百九十五] 水はあさく、[九百九十六] 瀬はあらく、[九百九十七] 水はあさく、[九百九十八] 瀬はあらく、[九百九十九] 水はあさく、[千百] 瀬はあらく、[千百一] 水はあさく、[千百二] 瀬はあらく、[千百三] 水はあさく、[千百四] 瀬はあらく、[千百五] 水はあさく、[千百六] 瀬はあらく、[千百七] 水はあさく、[千百八] 瀬はあらく、[千百九] 水はあさく、[千百十] 瀬はあらく、[千百十一] 水はあさく、[千百十二] 瀬はあらく、[千百十三] 水はあさく、[千百十四] 瀬はあらく、[千百十五] 水はあさく、[千百十六] 瀬はあらく、[千百十七] 水はあさく、[千百十八] 瀬はあらく、[千百十九] 水はあさく、[千百二十] 瀬はあらく、[千百二十一] 水はあさく、[千百二十二] 瀬はあらく、[千百二十三] 水はあさく、[千百二十四] 瀬はあらく、[千百二十五] 水はあさく、[千百二十六] 瀬はあらく、[千百二十七] 水はあさく、[千百二十八] 瀬はあらく、[千百二十九] 水はあさく、[千百三十] 瀬はあらく、[千百三十一] 水はあさく、[千百三十二] 瀬はあらく、[千百三十三] 水はあさく、[千百三十四] 瀬はあらく、[千百三十五] 水はあさく、[千百三十六] 瀬はあらく、[千百三十七] 水はあさく、[千百三十八] 瀬はあらく、[千百三十九] 水はあさく、[千百四十] 瀬はあらく、[千百四十一] 水はあさく、[千百四十二] 瀬はあらく、[千百四十三] 水はあさく、[千百四十四] 瀬はあらく、[千百四十五] 水はあさく、[千百四十六] 瀬はあらく、[千百四十七] 水はあさく、[千百四十八] 瀬はあらく、[千百四十九] 水はあさく、[千百五十] 瀬はあらく、[千百五十一] 水はあさく、[千百五十二] 瀬はあらく、[千百五十三] 水はあさく、[千百五十四] 瀬はあらく、[千百五十五] 水はあさく、[千百五十六] 瀬はあらく、[千百五十七] 水はあさく、[千百五十八] 瀬はあらく、[千百五十九] 水はあさく、[千百六十] 瀬はあらく、[千百六十一] 水はあさく、[千百六十二] 瀬はあらく、[千百六十三] 水はあさく、[千百六十四] 瀬はあらく、[千百六十五] 水はあさく、[千百六十六] 瀬はあらく、[千百六十七] 水はあさく、[千百六十八] 瀬はあらく、[千百六十九] 水はあさく、[千百七十] 瀬はあらく、[千百七十一] 水はあさく、[千百七十二] 瀬はあらく、[千百七十三] 水はあさく、[千百七十四] 瀬はあらく、[千百七十五] 水はあさく、[千百七十六] 瀬はあらく、[千百七十七] 水はあさく、[千百七十八] 瀬はあらく、[千百七十九] 水はあさく、[千百八十] 瀬はあらく、[千百八十一] 水はあさく、[千百八十二] 瀬はあらく、[千百八十三] 水はあさく、[千百八十四] 瀬はあらく、[千百八十五] 水はあさく、[千百八十六] 瀬はあらく、[千百八十七] 水はあさく、[千百八十八] 瀬はあらく、[千百八十九] 水はあさく、[千百九十] 瀬はあらく、[千百九十一] 水はあさく、[千百九十二] 瀬はあらく、[千百九十三] 水はあさく、[千百九十四] 瀬はあらく、[千百九十五] 水はあさく、[千百九十六] 瀬はあらく、[千百九十七] 水はあさく、[千百九十八] 瀬はあらく、[千百九十九] 水はあさく、[千二百] 瀬はあらく、[千二百一] 水はあさく、[千二百二] 瀬はあらく、[千二百三] 水はあさく、[千二百四] 瀬はあらく、[千二百五] 水はあさく、[千二百六] 瀬はあらく、[千二百七] 水はあさく、[千二百八] 瀬はあらく、[千二百九] 水はあさく、[千二百十] 瀬はあらく、[千二百十一] 水はあさく、[千二百十二] 瀬はあらく、[千二百十三] 水はあさく、[千二百十四] 瀬はあらく、[千二百十五] 水はあさく、[千二百十六] 瀬はあらく、[千二百十七] 水はあさく、[千二百十八] 瀬はあらく、[千二百十九] 水はあさく、[千二百二十] 瀬はあらく、[千二百二十一] 水はあさく、[千二百二十二] 瀬はあらく、[千二百二十三] 水はあさく、[千二百二十四] 瀬はあらく、[千二百二十五] 水はあさく、[千二百二十六] 瀬はあらく、[千二百二十七] 水はあさく、[千二百二十八] 瀬はあらく、[千二百二十九] 水はあさく、[千二百三十] 瀬はあらく、[千二百三十一] 水はあさく、[千二百三十二] 瀬はあらく、[千二百三十三] 水はあさく、[千二百三十四] 瀬はあらく、[千二百三十五] 水はあさく、[千二百三十六] 瀬はあらく、[千二百三十七] 水はあさく、[千二百三十八] 瀬はあらく、[千二百三十九] 水はあさく、[千二百四十] 瀬はあらく、[千二百四十一] 水はあさく、[千二百四十二] 瀬はあらく、[千二百四十三] 水はあさく、[千二百四十四] 瀬はあらく、[千二百四十五] 水はあさく、[千二百四十六] 瀬はあらく、[千二百四十七] 水はあさく、[千二百四十八] 瀬はあらく、[千二百四十九] 水はあさく、[千二百五十] 瀬はあらく、[千二百五十一] 水はあさく、[千二百五十二] 瀬はあらく、[千二百五十三] 水はあさく、[千二百五十四] 瀬はあらく、[千二百五十五] 水はあさく、[千二百五十六] 瀬はあらく、[千二百五十七] 水はあさく、[千二百五十八] 瀬はあらく、[千二百五十九] 水はあさく、[千二百六十] 瀬はあらく、[千二百六十一] 水はあさく、[千二百六十二] 瀬はあらく、[千二百六十三] 水はあさく、[千二百六十四] 瀬はあらく、[千二百六十五] 水はあさく、[千二百六十六] 瀬はあらく、[千二百六十七] 水はあさく、[千二百六十八] 瀬はあらく、[千二百六十九] 水はあさく、[千二百七十] 瀬はあらく、[千二百七十一] 水はあさく、[千二百七十二]

上上吉

市川多羅治 わかば

所岡治九 同

浅尾延三郎 △

[考説] 寒中村在三番目の[illegible]

[下キ] 藤村文[illegible]

[考説] 文[illegible]

[illegible]

[illegible]

○天和元年六月[illegible]

後見ゝく邪

巻軸 切上書 ワキ

中山文七 小ごん

嵐素芝 △

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

巻油

市川團蔵

△ 至上書 回 △

△ 上吉 ㊁ 坂東寿三郎

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人〻対面の挨拶のあり[illegible]こと[illegible]の[illegible]
対面[illegible]の[illegible]
[illegible]対面の[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一すぢ[illegible]

一名[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

名代 [illegible]

座本 [illegible]

添名代 [illegible]

○[illegible]

▲立役[illegible]の部役之部

上上吉 坂東彦三郎

四世目[illegible]

上上吉 坂東寿十郎

初代[illegible]

上上吉 片岡京四郎

[illegible]

上上吉 尾上[illegible]三郎

[illegible]

上上 嵐 [illegible]十郎

仕[illegible]

上上 嵐 寿三郎

[illegible]

上上 坂東[illegible]三郎

[illegible]

上上 坂東 大八

[illegible]

上上 三桝[illegible]

[illegible]

上上　立役ふたりぶんのこと　坂東又治郎
ぶ〜ふいんきさこ〜のかたちの所作

上上　中村鶴蔵
坂東鶴八郎
坂東吉治
ぶ〜ぶとめまぐるしくくるくるの多い踊の所作

上上吉　市川鶴蔵
川ゆきもみくしゃの所作　如月

▲若女形之部

上上士　中山孫東
あはしいかなるふるまひ　五月

上上士　嵐亦代三
仕方いろつかりとうさ　五月

上上　岩井源〜助
けいあふせめて一トよのハ　浪速

上上　中山勝治郎
おすがるいとうるりハ　後

上　坂東亀之郎

上上吉　七歩のうたのこと　坂東亀三郎
ぶ〜ぶんてるものとてやらいぶ　初

敵役　三桝三代治郎

上上　河竹氏新作傾曲五月幕　名
芝の殿赤城開切狂言　吉原十月幕　武
東奴様写切狂言　隅川深川恋物語　長唄
夕ぎり伊勢の土用うら　浦賀山切狂言
のちのぐ太郎左衛門　氏ちゃ
ぶりかりさ太郎の浮世　
ぶれ太郎右衛門　
ぶ太郎右衛門　
ぶ太郎右衛門　
ぶ

千秋萬歳の寿楽

大くく叶

浪花書林　八文字屋八左衛門
河内屋太助　板

花笠外史撰詞

役者三國志　彩色摺　全三冊

出板仕り

此続ケハ三編ホ
ねたなきやくしゃ
仙名の世うつり

可也新古ふうく
つ役者伝中の
ハ一名巻をひくもの

柳齊重春畫圖

わてなをあらそ考図したれハ
七ちゝ七ゝ眼のれの
ゑ名ゆをんるふとゆ
てうりしきて天たるがで
聚まりぐらふふ三兎ゝ京
兎色あをあをくあだ

来ル卯の春正月三日ゝ売出シ申ス

ゝ沢いゝ面ゝ描きくゝ名ゝ
ふがでゝ　角山くゝ紀外
ゝ京江戸大坂ゝ

文政
庚寅

[illegible]

役者始聞暦　藝平定

江戸之巻目録

花乃大江戸の繁昌
恵と得らう恵宝ゑ方
三の摺子音半入び
新是居ち顔見世
雪清成就ち
四ひの引み平ふ朝日
コレ元朝の春景色
七五三傍せ門松小
七種
てやーこてる
青も小ぐんぢ三徳打の
たべむもやわや初景色
永寿〳〵三種の天入

一番 能迎ゑ初手
稲荷ふむ
正一位やしろ 親玄大明神
角菱 縁〻 五雑乃 五者揃く
御揃と
吉川ゆり巻 ゆり巻 揃ゆり
吉例 曽我祭り
湯変師八遊ふ夜の七夕
八朔揃ゆり
戎講の賣実ふ役者目録
額見世より高ち
千両万両 番〻両
後ゆり上ゆる大喝月ゆ巻揃

沼尻三座物役者目録

堺町 中村勘三郎
葺屋町 市村羽左衛門
本挽町 河原崎権之助

○尺五紙俗名白ゆるたのこし

▲ 物巻頭

極上上吉 市川團十郎 河原
無類 坂東三津五郎 市村
▲ 立役之部

別上上吉 関 三十郎 市村
上上吉 坂東義 勘 市村
上上吉 十日防視 澤村源之助 河原
上上吉 三枡源之助 中村

中村定
上上吉
若方美

中村傳九郎　中村

上上吉

市川門三郎　中村

上上吉

市川八百蔵　中村

上上吉

嵐　七五郎　河原

上上吉

坂東三津太郎　市村

上上吉

関　十　蔵　市村

上上吉

松本五郎市　市村

上上

市川團四郎　河原

関　十　三　市村

坂東和三郎　中村

松本安之助　中村

上上吉

中村芝鶴　中村

上上吉

▲敵役之部

嵐　冠十郎　中村

上上吉

坂田半五郎　中村

上上吉

市川團九郎　市村

上上吉

坂東彦三郎　市村

上上吉

関田屋五郎　河原

上上吉

坂東彦三郎　市村

上上吉

中山文五郎　中村

上上上　濱尾鉄四郎　中村
上上上　中村芝藏　中村
上上上　川上とらのすけ　坂東彦左衛門　市村
上上上　大谷吉兵衛　市村
上上上　関　弘　勘　市
上上上　市川弁藏　河
上上上　市山理宗藏　中
上上上　松本虎藏　中
上上上　中嶋勘左衛門　中
上上上　嵐　鶴九郎　中
上上上　澤村沢右衛門　河
上上上　坂東治太郎　市
上上上　雪やなぎ　雪やなぎ　市川浪五郎　河
上上上　三枡米五郎　河

上上　中村千代駒　勘　中
上上　沢村川藏　河
上上　坂東吉次郎　市
上上　関　三　平　市
上上　坂東重藏　市
上上　坂東吉次　河
上上　相馬駒右衛門　河
上上　六月巻　巻　巻　

上　上　上

沢村沈平河
中村森五郎中
中村千代蔵中
坂東峯蔵中
松本深蔵中
市川九十郎河
関　歌十中
坂田杉蔵中
坂東二三蔵市
坂東玖蔵市
相賀七五郎市
市川雑子蔵河
市川園平河
中村車八河
坂東二八市
嵐　関蔵市
坂東助蔵市
恵頂勤平市

巻油
上上書
敵役

上上書

上上十

上上十

上上十

上上十

上上書

上

岩井粂太中
関　鹿　勉中
三桝京右衛門中
市川七三郎中
坂東清六市
恵頂改六市
片岡市蔵市

▲半乃敦之郎

夢や榊のうしろ菊の走

桐山紋治市

原中やものみもつうすかすかろ

三桝嘉蔵河

蝶々と我友ませんかうる

相賀伝右衛門河

蝶の舞ふ野中の日うらる式

坂東大吉市

雲雀鳴く中の松子や雛の家

恵頂嘉六市

雪崖こう上のやすらふ峠の松

▲ 若女形業と娘方と兼

太上上吉　瀬川菜之丞中

上上吉　同裏雛人形天台三位守うらとよ　岩井紫若河

上上吉　あつまこのくさき沖おろすの人のきろさく　嵐亀之丞河

上上吉　家中の桜の中とうあやさくら　小佐川常世市

上上吉　名ゆめの花のと汁ロさくさくけ　岩川友吉市

上上吉　白魚浅蜆ひとのくるの四くるの式　吾妻藤蔵中

上上吉　風流のうしめやおくの田植歌　市川おの江市

上上吉　早苗とるこそやむしあふ招　中村琴糸河

上上吉　紅葉やあ色多張る年くれ

上上吉　澤村源之助市

上上吉　岩井雁之助河

上上吉　岩井七之助河

上上吉　坂東佳朝河

上上吉　瀬川増吉中

上上吉　瀬川富三郎中

上上吉　松本小三郎中

上上吉　澤村惠蔵河

上上吉　市川徳之助市

上上吉　中村駒次郎中

上上吉　市川秀次郎中

上上吉　市川弁三河

上上吉　岩井松太郎河

上上吉　中村歌掛市

上上吉　都路笑十郎市

上上吉　中村歌六市

▲ 若衆方

上上吉　坂東二三八市
上上士　関　二三大郎市
上上一　尾上紋二郎市
上上一　山科甚吉市
上上　三桝大三郎市
上上　瀬川多門中
上上　岩井久治郎中
上上吉　市川新之助河
一　岩井紫子松　一　市川仙平
一　瀬川菊壮　一　坂東勝蔵
一　山本花里　一　坂田仲次
一　三桝寅之助　一　関　三次
一　市川国子　一　岩井猿吉
一　岩井紫延　一　大谷福吉
一　浜崎青吉　一　市川猿次
一　岩井紫女太　一　岩井男金

一　市川鶴之助　一　坂東三治
一　岩井松治郎　一　金子為蔵
一　中嶋和四郎河　一　市川松蔵
一　浜尾歳次郎　一　中村甚松
一　市川寅次郎　一　三桝亀助
一　沢村滝助　一　市川金蔵
一　坂東歳治　一　坂東市之助
一　坂東相蔵　一　坂東仙之助

▲ 麹巷舶

上上吉　市川海老蔵河

白魚やしらうを船にうかれ出て
網引網引の小船に揺られ揺られ

無類　岩井半四郎河

後見　両の手に小船に揺られ揺られ草の餅

▲ 太夫元之部

上上吉　中村勘三郎堺
上上吉　市村羽左衛門菅
上上吉　河原崎権之助木

▲ 二座頭取之部

中村産
市村産
河原崎産

▲ 狂言作者之部

中村屋

中村治兵衛 長谷川出雲
坂東利根藏 清水三右衛門
澤村川藏 小川十六郎

一世一代 鶴屋南北

松井幸三

市村屋

福井兵七 長井善八 高橋宣治 天野善八 野口豊助
村市親 松嶋幸二 高河原助

河原崎屋

三舟屋三治 子鳥屋吉蔵 榊森幸三 竹川文左衛門 鈴木新吉
瀬川如皐 篠田金治

千種万歳大入大当り
代々繁昌

[illegible]

文政十戊寅年十二月廿日　同　二代目
清閑院蓮華寺　萩野伊三郎　俗名二代目
法名蓮妙　行年八十文

二代目萩野伊三郎六十七年以尾上殺三郎
[illegible]
彼岸[illegible]頃[illegible]
後[illegible]
[illegible]
[illegible]

俗名

中山亀三郎　中村佐十郎　国蔦此勝

中山亀三郎殺人藤車文の事実千とも
[illegible]
[illegible]
[illegible]

去る程に京中年行司人秀鶴丈[illegible]
[illegible]
[illegible]
く

[頭取]四郎兵衛[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible] 頭取 曽我の太郎の薬師
の十郎と五郎伊豆の国狩川のゆく猛き武士に逢へ
[illegible]
[illegible] 坊主の助けられ
[illegible] 信
[illegible] 我の太郎祐成無なか
[illegible] 凡切者
[illegible]
[illegible] 故人個[illegible]
[illegible] 一すんもうぬ程言へ
頭取 二寸ぬかの[illegible]
[illegible] 武紙[illegible]
[illegible] 角の長者とかり娘の
[illegible] 金百貫入てあるとかの笑寺のらんこう坊へ
[illegible]
[illegible] 今も大きく ヒイキ ひいきと
とくむ[illegible] 頭取 三月二十九日の[illegible]二
[illegible] 氏の勝尼[illegible]行事上[illegible] 凡切者

[illegible] 逢へども[illegible]中
[illegible] 集人[illegible]
[illegible] 老人 [illegible]
[illegible] 春永の[illegible]
[illegible] 凡切者 すりへ
[illegible]
[illegible] 凡切者 [illegible]
[illegible] 春永の討死[illegible]中
[illegible] ちるロ ちんぐら[illegible]
[illegible] 頭取 大結松下[illegible]
[illegible] 凡切者 [illegible]
[illegible] 紙治の[illegible]世
[illegible] イサミ [illegible]
[illegible] 凡切者 [illegible]

塔文は永井右馬頭なりしかども大さの後顧慮と
世知仁を愛ぶこと二度あり小さき三度皇
の市長り橋屋柱及び敷米二人ぶ人まり
の場大玉敷く四建め浄まり山城[図絵]無
お勤と命ぜらるる兵六合者郡社の大人
なりしとしてこうちうのとうまつ[図絵]三人今
義く拵る場中小屋立六度目仲末命く
[図絵]のとまんきの大お敷く自間ア人命一まぞ
なりしく貴ぶ由時江戸役者の紀伊大和
屋大的神と敬て申す

上上吉 関 二十郎 市

立役の巻頭歌山まで[図絵]ライト
待て居すぐ心感浦く[図絵]頭取本松平料
曽根二建め金右五五五年二年末の一
人りでなるとうきり行を屋番小男人なる

如成合とう[図絵]ライトそれ[図絵]ライトそ[図絵]ライト
[図絵]ライト役ゆそ引立とこの[図絵]ライト
まの[図絵]ライト[図絵]ライト[図絵]ライト[図絵]ライト
[図絵]ライトそ[図絵]ライト[図絵]ライト[図絵]ライト
すあ[図絵]ライト[図絵]ライト[図絵]ライト[図絵]ライト

関人 市

[図絵]ライト[図絵]ライト[図絵]ライト[図絵]ライト
市[図絵]ライト[図絵]ライト[図絵]ライト[図絵]ライト
[図絵]ライト[図絵]ライト[図絵]ライト[図絵]ライト
[図絵]ライト[図絵]ライト[図絵]ライト[図絵]ライト
[図絵]ライト[図絵]ライト[図絵]ライト[図絵]ライト
[図絵]ライト[図絵]ライト[図絵]ライト[図絵]ライト
[図絵]ライト[図絵]ライト[図絵]ライト[図絵]ライト
[図絵]ライト[図絵]ライト[図絵]ライト[図絵]ライト
[図絵]ライト[図絵]ライト[図絵]ライト[図絵]ライト
[図絵]ライト[図絵]ライト[図絵]ライト[図絵]ライト
[図絵]ライト[図絵]ライト[図絵]ライト[図絵]ライト
[図絵]ライト[図絵]ライト[図絵]ライト[図絵]ライト

め義りる登傳二郎おなじく【図】三月
伊達の豆腐屋三郎
三郎武とのつめ郎きたりくるまの
四長郎とのつ役【下】東海道なか
役いとのつくこ高月長と大かるく
【四月】松田彦兵世三郎武兵五員
世紀の西瓜きりの松田彦兵歌兵
三くりきりのうだんきりの坂大喜次引
色と夢り福の喜人公て表住大坂表を
のおり過とりて上りの家とり三国の住
兵せりいと西出にいる里をりて眼の
ところ【四月】このところ大磯の西市川
流てりるとたて二郎世人きりなり花
ふりて大ふりの西きこの五建め大帰太
喜八自兵光兵福のうへ公て表住大坂表の五

四大おなじく銭川右衛門右衛門と坂（入色）銭右衛
門表ところにたりて坂計山兵表住大坂
とのこと大おなじ大おり【図】九人のりと五の
義八建喜二六建め栗の太文治宗太郎
井の保昌兵と長門の人色兵東ところ
大おなじくイヨ尾張屋
上上吉　坂東義駝　市
西時日の安者兵住大坂表の本
【表おなじ】銭ところくサクくくく

力抽中まくとも大おそれ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

十六日より四日又稲毛三浦の海水の冠者
者共三郎まとの道へ入給ふ武士
御れいの狂言まめやつの拾遺の海の
潮吉の又ふ老武者ふ
拾遺の海の海苔の
月海苔ふ
かつうと思ひの
ふ者ふ者ふの細川勝元ふ三郎
めの家ふ伏姫ふ
と思ひ
討の頭ふ
思ひ
と思ひ故ふ三代の狐ふ
が狐ふ
ふ人ふ

[illegible]

上上吉　三桓源之助中

[illegible]

[illegible]

[illegible]

如月座（将来ぶ姫こそやまと白拍子
忠盛清盛父子の対面をうまるその元大
おもくこれにて三段目千鳥屋と成り
屋と三人おとうとおとうとの五目千鳥六
十六の対面世二段目大なる大二国家
元の大立者大お國く

中村傳九郎 中

上上吉 ㊀ 中村傳九郎 中

義経千本桜 所柱今成男つ二段
目大物の義経本所柱世二段目鮨屋
弁慶と義経の対面と大詰
横川の僧侶と義経の対面と大詰
所作山の三段目大詰
中で平家の二国物語ぶ
めの大詰おくく

上上上 市川門三郎 中

本桜千本桜中世二段目所柱世二段目
四討入二国人今ぶ大詰大詰二国三
人行逢平井保昌所柱世二段目
の義経千本桜中世二段目
芝居者と天竺徳兵衛韓人漢文
弟子と所柱世二段目
吉野山千本桜中世二段目
国生国の上郎上郎
芝居故人市川団十郎の国生で
ぶ

上上上 ㊀ 市川八百蔵 中

振神楽千本桜中世二段目
郎兵衛千本桜中世二段目
の切狂言千本桜中世二段目
役小生白大金作千本桜中世二段目

上二十二

上二十三　中村芝翫中

堺町の地蔵様の本[illegible]

上二十四

嵐　七五郎

[illegible]

上二十五

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

有馬内匠頭殿三百人ばかり出
仕申し上げ候ハ[illegible]
[illegible]

上上吉　(三)　坂田軍五郎　中
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

上上吉　(四)　次回[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

上上吉　(五)　坂東三蔵　石浦八市
[illegible]
男[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

上上吉　(回)　市川宗九郎　市
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

上上吉　(三)　竹岡市蔵　市

大後藤　此家川流れ流れ流れ

さかい丁
中村座
冠十帝
有伝
冠十帝
市村座
三十帝
三津帝
市村座
三津帝
市村座
河原崎座

左の部は世三郎雄のもとびやうえ
大分表く

上上上吉 ㊐ 三掛 森藏中

[illegible]

上上吉 乃 [illegible] 市

[illegible]

大上上吉 ㊗ 瀬川 [illegible] 中

[illegible]

月小夜光 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上吉 嵐 亀之助 河

[illegible]

上上吉 小佐川常世 市

[illegible]

上上吉 浪川宜吉 市

[illegible]

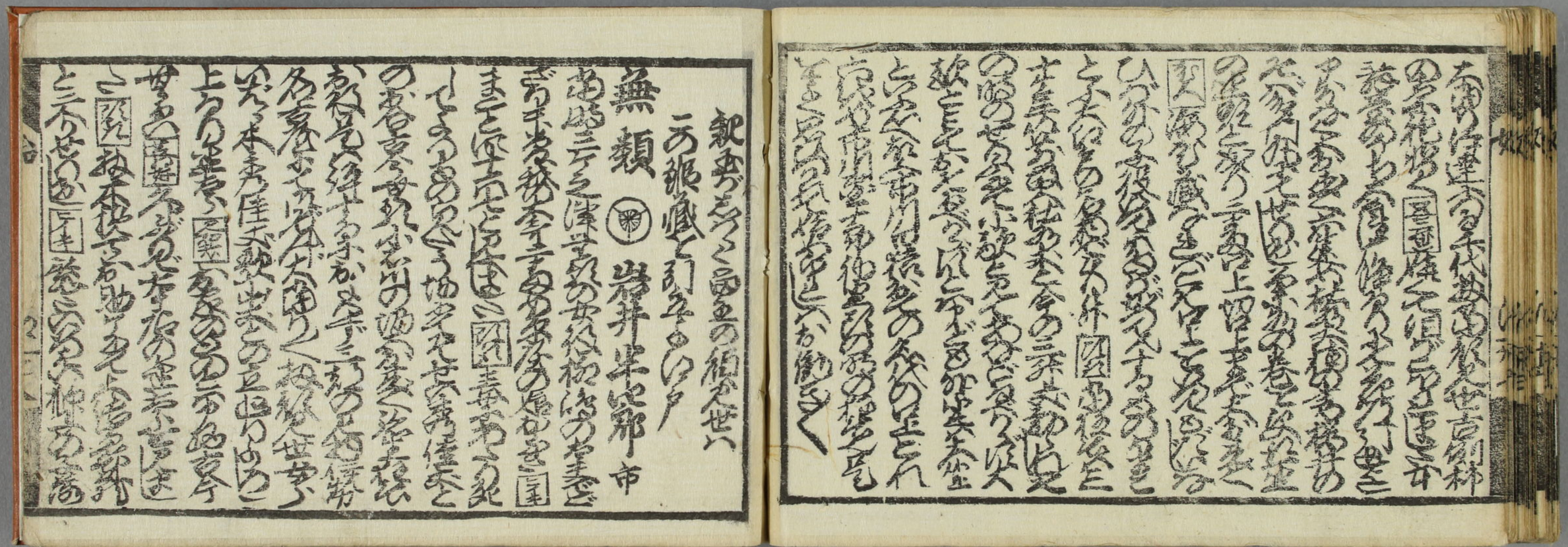
上上吉 中村歌六 市

[illegible]

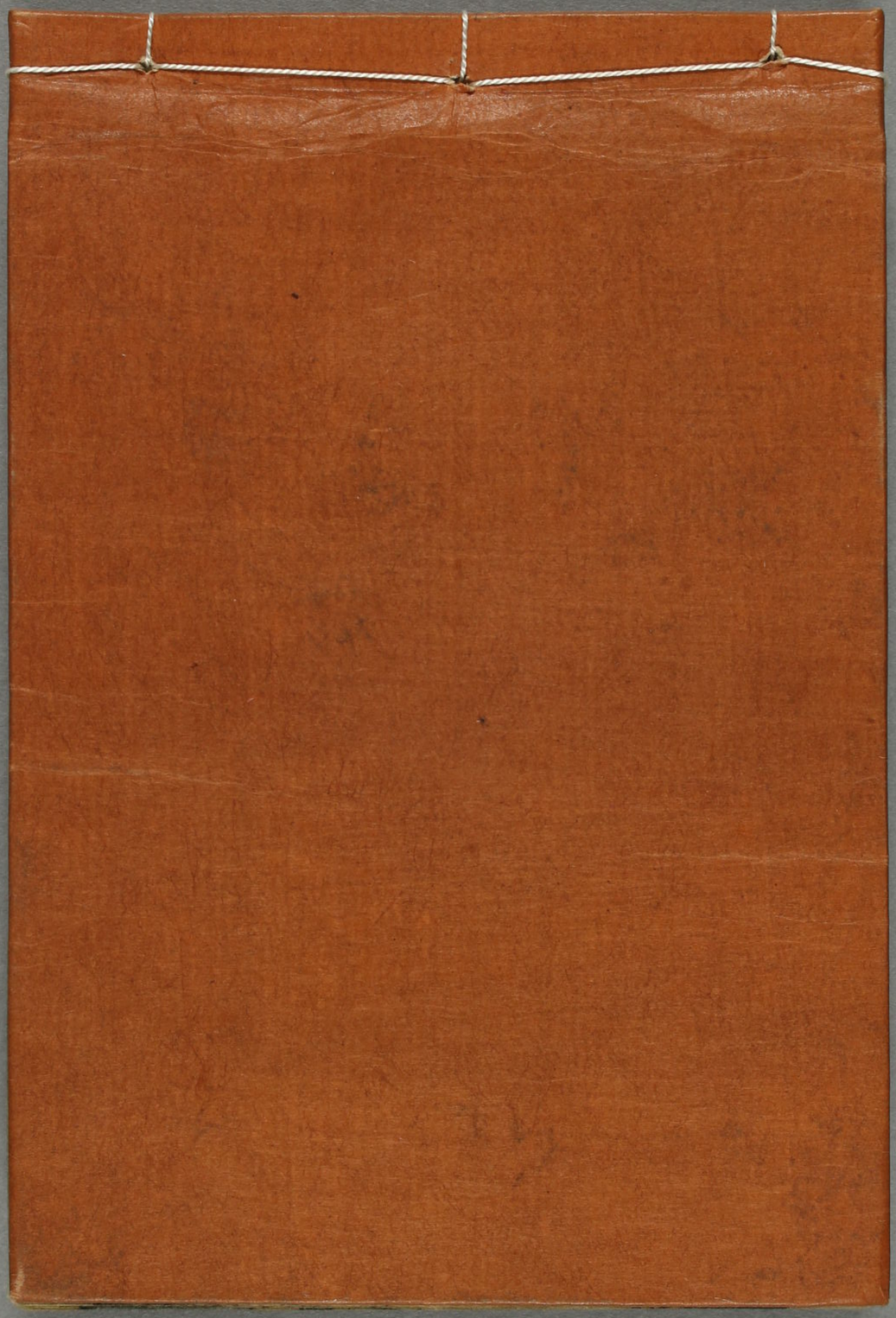
[illegible]

[illegible]

[illegible]



千龜
万歳
大吉祥

八文舎自笑
梅枝軒泊鶯

後者追開居宅を春後